

令和7年度
南部町教育委員会の
事務の点検・評価報告書

(令和6年度事業対象)

令和8年3月

南部町教育委員会

目 次

第1 教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価

(1) 趣旨	1
(2) 点検及び評価の対象	1
(3) 点検及び評価の方法	1
(4) 学識経験者の知見の活用	2

第2 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会の構成	5
(2) 会議の開催状況	5
(3) その他の活動状況	7
(4) 令和6年度南部町教育方針	8

第3 決算の概要

(1) 教育費決算額	11
(2) 学校給食センター特別会計決算額	11

第4 令和6年度取組及び点検・評価

令和6年度取組及び点検・評価一覧	15
(1) 政策11 未来を担う人づくりの推進	17
(2) 政策12 貴重な地域文化の継承と新たな文化の創造	49
(3) その他 社会情勢の変化により新たに取り組んだ事業	55

第5 学識経験者からの総評

(1) 学校教育	67
(2) 社会教育	67
(3) 社会体育	68
(4) 文化財保護	68


参考資料

(1) 南部町教育委員会の事務の点検及び評価実施要綱	71
(2) 南部町立小中学校学級数・児童生徒数	72



第1

教育委員会の事務の管理及び 執行状況の点検・評価



- (1) 趣旨
- (2) 点検及び評価の対象
- (3) 点検及び評価の方法
- (4) 学識経験者の知見の活用

1 教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価

(1) 趣旨

平成 19 年 6 月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

教育行政の推進にあたり、その政策効果を把握し、必要性、効率性等の観点から自ら点検・評価を行い、その結果を公表することは、政策立案を的確に行うとともに住民に対する説明責任を果たす上で重要なことです。

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条の規定に基づき、令和 6 年度の教育委員会事務事業について自己点検・評価を実施した結果をまとめたものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 点検及び評価の対象

点検・評価は、令和 6 年度に実施した教育委員会の施策、事務事業全般を対象とし、また、教育委員会会議の開催状況や教育委員の活動状況など、教育委員会の活動そのものについても実施しました。

なお、評価の対象とする項目については、「南部町総合振興計画」に掲げる施策を基本とし、その施策に関する主な事務事業を選定しました。

また、計画に掲げる施策に関する事務事業のほか、社会情勢の変化等により新たに取り組んだ事業など、主要な事務事業も選定しました。

(3) 点検及び評価の方法

施策主管課が重要施策毎のシートを作成し、次の 5 段階による評価を行いました。なお、成果指標については、目的や実績を表す際の参考数値であり、この数値のみをもって事務事業のすべての成果を表すものではありません。

評価区分	評価基準
A	施策の実現に貢献する事業が順調に実施されている。
B	施策の実現に貢献する事業が概ね順調に実施されている。
C	施策の実現に貢献する事業が順調に実施されているとは言えない。
D	事業がほとんど実施されていない。
E	施策の実現に貢献する事業とは言えない。

(4) 学識経験者の知見の活用

点検及び評価の客観性を確保するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 2 項並びに南部町教育委員会の事務の点検及び評価実施要綱第 3 の規定により、次の 2 人の学識経験者の知見をいただきながら、外部評価を行いました。

<南部町教育委員会の事務の点検・評価アドバイザー>

元南部町立向小学校長 芦名 均 氏

南部町スポーツ協会長 高森 直樹 氏



第2

教育委員会の活動状況



- (1) 教育委員会の構成
- (2) 会議の開催状況
- (3) その他の活動状況
- (4) 令和6年度南部町教育方針

2 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会の構成（令和7年3月31日現在）

教育長及び4人の教育委員は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、町長が議会の同意を得て任命しています。

教育長の任期は3年、委員の任期は4年で、原則として毎月1回定例会を開催しています。

職名	氏名	任期	就任年月日
教育長	高橋 力也	令和4年4月1日～ 令和7年3月31日	平成29年4月1日
委員 (職務代理者)	山田 和彦	令和7年3月16日～ 令和11年3月15日	平成29年3月16日
委員	西舘 たか	令和5年3月16日～ 令和9年3月15日	平成27年3月16日
委員	川守田 良修	令和6年4月5日～ 令和7年3月31日	令和2年4月5日
委員	小萩沢 公子	令和4年4月5日～ 令和8年4月4日	令和4年4月5日

(2) 会議の開催状況

会議は、原則として毎月第3水曜日に定例会を行い、必要に応じ臨時会を開催しています。

会議では、教育行政に関する基本方針や町議会提出案件、規則等の制定・改廃などを審議しているほか、事務局から委員に対し、教育施策に関する各種報告や情報提供なども行っています。

◆教育委員会会議における審議議案の件数内訳

案件名	議案	報告
教育に関する事務の管理及び執行に関すること	3	10
教育財産の取得に関すること	1	2
県費負担教職員の懲戒、任免、その他人事に関すること	0	1
事務局職員の懲戒、任免、その他人事に関すること	0	1
教育委員会規則その他規程等の制定、改廃に関すること	3	2
教育予算その他議会の議決を経るべき議案に関すること	0	10
附属機関の委員等の委嘱又は解嘱に関すること	2	4
表彰に関すること	2	0
文化財の指定又は解除に関すること	1	0
その他	1	1
合計	13	31

◆令和6年度教育委員会審議案件

期日	付議案件等		結果
第227回 定例会 (4/17)	報告1	教育委員会事務局職員定例人事異動について	承認
	報告2	南部町教育委員会の事務の点検・評価報告書について	承認
	報告3	南部町児童生徒文化活動・スポーツ振興補助金交付要綱の一部改正について	承認
第228回 定例会 (5/15)	報告4	準要保護児童の認定について	承認
	報告5	南部町立学校給食センター設置条例施行規則の一部改正について	承認
	議案1	教育財産（土地）の取得について	可決
	議案2	南部町スポーツ推進委員の委嘱について	可決
第229回 定例会 (6/19)	報告6	令和6年度南部町一般会計補正予算（教育費関係費）について	承認
	報告7	南部町立福地小学校学校評議員の委嘱について	承認
	報告8	南部町社会教育委員並びに公民館運営審議会委員の委嘱について	承認
	議案3	南部町奨学金の貸付（新規）について	可決
第230回 定例会 (7/17)	報告9	通学区域外就学の承認について	承認
	報告10	南部町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について	承認
第231回 定例会 (8/21)	報告11	令和6年度三戸地区中学校教科用図書採択に係る協議結果について	承認
	報告12	南部町奨学金の貸付（返還免除確定）について	承認
	報告13	令和6年度南部町一般会計補正予算（教育費関係）について	承認
	議案4	南部町立学校における働き方改革プランの策定について	可決
	議案5	令和6年度特別支援教育就学奨励費支弁区分の認定について	可決
第232回 定例会 (9/19)	報告14	令和5年度南部町一般会計決算（教育費関係）認定について	承認
	報告15	令和5年度南部町学校給食センター特別会計決算認定について	承認
	報告16	令和6年度南部町一般会計補正予算（教育費関係）について	承認
	報告17	南部町文化財審議委員の委嘱について	承認
第233回 定例会 (10/16)	報告18	財産の取得の追認について	承認
	議案6	学校部活動及び新たな地域クラブ活動の方針の策定について	可決
	議案7	南部町文化賞・スポーツ賞表彰審査会委員の委嘱について	可決
第234回 定例会 (11/20)	報告19	令和6年度社会教育課所管施設の年末年始に係る臨時休館について	承認
	議案8	通学区域外就学の承諾について	可決
	議案9	南部町立福地中学校学校評議員の委嘱について	可決
第235回 定例会 (12/18)	報告20	令和6年度南部町一般会計補正予算（教育費関係）について	承認

期日	付議案件等		結果
第 236 回 定例会 (1/15)	報告21	通学区域外就学の承諾について	承認
	議案10	南部町文化財の指定について	可決
	議案11	令和6年度南部町文化賞・スポーツ賞被表彰者について	可決
第 237 回 定例会 (2/18)	報告22	準要保護児童の認定について	承認
	報告23	通学区域外就学の承諾について	承認
	議案12	南部町部活動指導員設置要綱の制定について	可決
第 238 回 定例会 (3/19)	報告24	令和6年度南部町一般会計補正予算（教育費関係）について	承認
	報告25	令和6年度南部町学校給食センター特別会計補正予算について	承認
	報告26	令和7年度南部町一般会計予算（教育費関係）について	承認
	報告27	令和7年度南部町学校給食センター特別会計予算について	承認
	報告28	要保護・準要保護児童生徒の認定について	承認
	報告29	通学区域外就学の承諾について	承認
	報告30	財産の取得について	承認
	報告31	南部町立小・中学校教職員定期異動の内申について	承認
議案13	令和7年度教育方針について	可決	

(3) その他の活動状況

教員委員は定例会のほか、教育委員会に関わる会議や研修会に参加し、職務に必要な知識の習得に努めているほか、学校行事や式典等に出席し、教育現場の状況に理解を深めています。

◆教育委員会会議以外の活動状況

月	活動内容
4月	小中学校入学式、南部町教育大会
5月	中学校体育祭、青森県市町村教育委員会連絡協議会定時総会
6月	南部町小学校陸上競技記録会
7月	三戸郡町村教育委員会臨時総会並びに研修会
9月	学校訪問（11月までの3回）
10月	小学校学習発表会、中学校文化祭、南部町民運動会、中学生海外派遣事業、国際音楽の日「南部町音楽会」、三戸郡町村教育委員秋季研修会
11月	果樹の里なんぶりレーマラソンリレーマラソン、名川中学校20周年記念式典
1月	二十歳の祝典（成人式）
2月	南部町文化賞・スポーツ賞表彰式、三戸郡教育振興会定期総会
3月	小学校卒業証書授与式、中学校卒業証書授与式

(4) 令和6年度南部町教育方針

令和6年度南部町教育方針

◆基本理念

教育は人づくり、明日を担う人を育て一人一人の個性を活かすまちづくり

◆基本方針

南部町教育委員会は、青森県教育委員会及び三八教育事務所、関係機関、諸団体との連携を図り、豊かで潤いのある生涯学習社会の形成に向けて、「心身ともに健康で豊かで情操とすぐれた創造力、たくましい実践力を持ち、郷土の発展につくす人材の育成」に努める。

◆教育目標

1. 町民の連携意識を高めながら、豊かな心と広い視野を持ち、誇りと愛着を持って郷土の発展に貢献することのできる品性豊かな町民の育成に努める。
2. 社会の変化に対応しながら、自分の目標を持ち、豊かな情操と創造力・実践力を磨きながら生涯学び続け、積極的に社会参加のできる町民の育成に努める。
3. スポーツに親しみながら、自分の体力と健康に関心を持ち、自主的に健康で安全な生活を営むことのできる町民の育成に努める。

◆教育施策の重点

1. 学校教育においては、主体的な学習態度を育て、基礎的・基本的な知識や技能を習得させ、思考力、判断力、表現力などを育み、夢や志の実現に向けた教育を推進する。
また、町内小中学校へは「特色ある学校づくり」のために町独自の支援を継続する。
2. 社会教育においては、学校と地域の協働による教育活動と家庭教育の充実に努める。
また、文化活動においては、芸術文化活動の奨励や育成を図るとともに伝統文化の継承育成や未来に伝える貴重な文化財の保存・活用に努める。
3. 社会体育においては、スポーツ活動の振興やニュースポーツの普及と実践化を図るとともに、日常生活での体力づくりを推進する。



第3

決算の概要



- (1) 教育費決算額
- (2) 学校給食センター特別会計決算額

4 決算の概要

(1) 教育費予算額（令和3年度～令和6年度）

単位（円）

科目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一般会計 歳出総額	11,425,606,544	12,064,771,859	11,507,155,333	11,425,700,551
教育費 歳出総額	813,121,407	1,615,076,585	1,017,339,558	1,390,647,137
教育費の割合	7.1%	13.4%	8.8%	12.2%
教育総務費	263,758,858	621,420,923	306,002,717	470,810,562
教育委員会費	439,120	842,300	1,130,320	959,880
事務局費	263,319,738	620,578,623	304,872,397	469,850,682
小学校費	119,211,750	144,325,000	127,698,966	175,528,209
学校管理費	102,797,901	130,296,977	115,346,386	162,935,469
教育振興費	16,413,849	14,028,023	12,352,580	12,592,740
中学校費	80,537,234	97,281,978	80,634,261	88,729,732
学校管理費	67,024,829	84,601,067	66,335,660	76,570,242
教育振興費	13,512,405	12,680,911	14,298,601	12,159,490
社会教育費	125,822,640	216,636,758	285,264,205	414,039,375
社会教育総務費	48,107,911	50,887,785	63,382,498	65,046,862
公民館費	11,881,480	14,590,073	13,007,071	14,717,649
社会教育施設費	15,312,519	17,181,440	16,103,374	23,289,862
文化財保護費	50,520,730	133,977,460	192,771,262	310,985,002
保健体育費	95,022,925	416,844,926	109,977,409	120,841,259
保健体育総務費	36,650,319	41,367,318	47,321,750	51,202,578
保健体育施設費	58,372,606	375,477,608	62,655,659	69,638,681
給食センター費	128,768,000	118,567,000	107,762,000	120,698,000
給食センター管理費	128,768,000	118,567,000	107,762,000	120,698,000
計	813,121,407	1,615,076,585	1,017,339,558	1,390,647,137

(2) 学校給食センター特別会計決算額（令和3年度～令和6年度）

単位（円）

科目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
教育総務費	195,391,557	181,589,581	166,153,920	178,920,823
給食費	195,391,557	181,589,581	166,153,920	178,920,823
予備費	0	0	0	0



第4

令和6年度取組及び点検・評価



令和6年度取組及び点検・評価一覧

政策11 未来を担う人づくりの推進

政策12 貴重な地域文化の継承と新たな文化の創造

その他 社会情勢の変化により新たに取り組んだ事業

4 令和6年度取組及び点検・評価

令和6年度取組及び点検・評価一覧

政策 11 未来を担う人づくりの推進		担当課	評価
施策 27 学校教育の充実			
1	幼児教育推進・環境整備事業	学務課	A
2	特色ある学校経営事業	学務課	A
3	クラブ活動等推進事業	学務課	A
4	特別支援教育事業	学務課	A
5	特別支援就学奨励費補助事業	学務課	A
6	外国語指導助手派遣事業	学務課	A
7	GIGA スクール構想推進事業	学務課	A
8	教科書指導書購入事業	学務課	A
9	就学援助事業	学務課	A
10	奨学資金貸付事業	学務課	A
11	学校保健事業	学務課	B
12	学校体制適正化検討事業	学務課	A
13	教育施設維持整備事業	学務課	B
14	教育施設図書整備事業	学務課	A
15	教育施設開放事業	学務課	B
16	なんぶちえりばす（スクール対応便）運行事業	学務課	A
17	小学校国内交流事業	学務課	A
18	中学生海外派遣事業	学務課	A
19	小中学生給食費無償化事業	学務課	A
20	地産地消・食育普及推進事業	学校給食センター	A
施策 28 生涯学習・社会教育の充実			
21	特色ある生涯学習プログラム整備事業	社会教育課	B
22	生涯学習関連施設の整備充実事業	社会教育課	B
23	公民館事業	社会教育課	B
24	地域教育事業	社会教育課	B
25	家庭教育事業	社会教育課	B
26	高齢者生涯教育事業	社会教育課	B
施策 29 生涯スポーツの振興			
27	運動公園・体育施設管理事業	社会教育課	B
28	スポーツ指導者育成・活動支援事業	社会教育課	B
29	スポーツ大会支援事業	社会教育課	B
30	生涯スポーツ（ニュースポーツ）普及推進事業	社会教育課	B

施策 30 青少年健全育成の推進			
31	青少年団体活動事業	社会教育課	B
施策 31 幅広い視野を持つ人材の育成			
32	国内交流推進事業	社会教育課	B

政策 12 貴重な地域文化の継承と新たな文化の創造			
施策 32 芸術・文化の振興			
33	芸術及び文化団体育成・支援事業	社会教育課	B
34	南部七唄七踊り全国大会開催事業	社会教育課	B
施策 33 歴史・文化遺産の保存と伝承			
35	史跡聖寿寺館跡等発掘調査事業	社会教育課	B
36	史跡聖寿寺館跡整備事業	社会教育課	B
37	展示・収蔵・学習施設の整備・活用事業	社会教育課	A
38	伝統芸能保存・継承事業	社会教育課	B

その他			
社会情勢の変化等により新たに取り組んだ事業			
39	名久井農業高等学校支援事業	学務課	A
40	新入学児童ランドセル購入事業	学務課	A
41	新入学中学生制服等購入事業	学務課	A
42	新入学高校生制服等購入事業	学務課	A
43	高等学校等修学支援事業	学務課	A
44	受験生世帯灯油購入支援事業	学務課	A
45	大学生等を持つ親等への支援事業	学務課	A
46	小中学生修学旅行支援事業	学務課	A
47	教職員の働き方改革推進事業	学務課	C

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 27	学校教育の充実

事業名： 1 幼児教育推進・環境整備事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	30 千円
------------	-----	------------	-------	-------

事業概要

幼保小連携部会において、町内の保育士、幼稚園教諭、小学校教師が講師を招へいしての研修会や園、小学校の授業参観及び情報交換会を実施するなど積極的な交流を図り、小学校へのスムーズな移行ができるよう連携強化を図る。

令和6年度の主な取組

○町教育振興協議会で「幼保小連携部会」を組織し、幼稚園、こども園、小学校教職員が連携・協働して、小学校の授業参観や保育参観、校内見学、情報交換等を行った。

6月27日	福地小学校（1・2年生）授業参観
11月12日	名川小学校（1・2年生）授業参観・情報交換
11月25日	南部小学校公開授業・講演会
12月10日	福地小学校授業参観・校内見学
12月12日	幼児と児童の交流（ふれあい交流会）
1月20日	福地小学校交流会参加・校内見学
1月～2月	幼稚園・こども園の参観・情報交換

内部評価・成果

A

小学校の授業参観や情報交換、交流会・講演会等を行い、学力の基盤となる道徳教育や指導などについて、乳幼児期からの指導の一貫性を確立するとともに幼児への理解を深めることができ、順調に実施されている。

課題・今後の方向性

幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、この時期に質の高い幼児教育が提供されることは極めて重要であることから、現状のまま継続する。

外部評価委員の意見

幼保小互いの授業・保育参観や情報交換等の実施は、小学校への円滑な接続を目指す上で継続すべき事業です。ただ統合により小学校が減少した現在、情報交換は毎年行う必要はあるが、授業・保育の参観は、2年に1度程度実施し、あと1年は全体での講演会や研修会を行うなどして、教職員の負担軽減を図る見直しを進めてもいいのではないかと思います。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 27	学校教育の充実

事業名：2 特色ある学校経営事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	2,365	千円
------------	-----	------------	-------	-------	----

事業概要

町の将来を担う児童生徒の健全育成を図り、未来への先行投資をすることで教育の質をより一層向上させることを目的とし、学校経営に創意工夫を凝らし、個を活かし創造性を育む学校教育活動を推進のため、児童生徒数に応じた補助金を交付する。

令和6年度の主な取組

○各学校でテーマを設け、現状把握と目標を掲げ事業を実施し、事業終了後は成果や今後の課題・取組方針などをまとめ、翌年度の南部町教育大会で報告した。

福地小 思いや考えを伝え合い、高め合える子の育成（429,000円）

名川小 わたしたちの暮らすふるさとを学ぶ（441,000円）

南部小 仲間とともに夢に向かう子を目指して（326,000円）

福地中 「規律正しく、心豊かな生徒」「自ら学び、自ら育つ生徒」を育む活動推進事業（419,000円）

名川中 耕頭～地域とともに学ぶ～（444,000円）

南部中 南中愛～飛翔～（306,000円）

内部評価・成果

A

各学校でテーマを設け、目的を達成するために補助金を活用し、ICT機器の活用や生活科・総合的な学習での体験活動、環境美化活動などを行い、順調に実施されている。

課題・今後の方向性

町の教育方針で、特色ある学校経営事業は重点施策に掲げており、各学校から取組みによる成果報告もあることから、現状のまま継続する。

外部評価委員の意見

補助金の運用は、各学校に任せられているので、目的に即して幅広く活用することができ、非常に価値のある事業です。町の特色ある事業として、今後も継続をお願いします。できれば物価や諸経費の高騰を踏まえた補助金の見直しも行っていただければありがたいと思います。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 27	学校教育の充実

事業名：3 クラブ活動等推進事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	1,346	千円
------------	-----	------------	-------	-------	----

事業概要
町の将来を担う児童生徒の健全育成を図り、未来への先行投資をすることで教育の質をより一層向上させることを目的とし、小中学校のスポーツ・文化等のクラブ活動、部活動の推進のため、基本額と児童生徒数に応じた補助金を交付する。

令和6年度の主な取組
○各学校でテーマを設け、現状把握と目標を掲げて事業を実施し、事業終了後は成果や今後の課題・取組方針などをまとめ、町に報告した。
福地小 クラブ活動用具・消耗品等の購入（126,000円）
名川小 クラブ活動用具・消耗品等の購入（130,000円）
南部小 クラブ活動用具・消耗品等の購入（92,000円）
福地中 指導者への報酬、部活動用具の購入（353,000円）
名川中 部活動用具の購入（371,000円）
南部中 指導者への報酬、部活動用具の購入（274,000円）

内部評価・成果	A
各学校でテーマを設け、目的を達成するため補助金を活用し、スポーツ・文化等クラブ指導者への報酬支払いや用具・消耗品を購入し、順調に実施されている。	

課題・今後の方向性
児童生徒のクラブ活動に対する意欲が増し、望ましい人間関係の形成や各種大会等で優秀な成績を収めるなどの成果報告があり、現状のまま継続する。

外部評価委員の意見
事業名2「特色ある学校経営事業」と同様の意見です。ただ、中学校の部活動に関しては、地域との連携も進んできているので、調整や見直しも必要になってくるのではないかと思います。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 27	学校教育の充実

事業名：4 特別支援教育事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	43,014	千円
------------	-----	------------	-------	--------	----

事業概要

特別な支援が必要とする児童生徒の自立行動や社会参画に向け、交流会の開催や指導方法の工夫・改善についての情報交換、学習活動上での支援を行うスクールサポーターを配置する。

令和6年度の主な取組

○特別支援教育支援員（スクールサポーター）を各小中学校に配置し、要介助支援児童や発達に遅れや偏りのある児童に対し、個々に寄り添った支援を実施した。

小学校 福地小6人、名川小6人、南部小6人 計18人（33,284,864円）
 中学校 福地中1人、名川小2人、南部小2人 計5人（9,679,444円）

○なかよし交流学習会（9月2日・浅虫水族館）を開催し、児童生徒の交流と親睦を深めるとともに、社会性の育成に努めた。また、特別支援に関わる教員と情報交換を行った。

内部評価・成果

A

特別支援学級に就学する児童生徒や保護者を対象に交流会を開催したり、学校の実情に合わせて特別支援教育支援員を配置することで、児童生徒が安心して学校生活を送ることができ、順調に実施されている。

課題・今後の方向性

障がいの程度も重度化、重複化し保護者のニーズも多様化している。学校での日常生活動作や学習活動を支援する人員の配置は、障がいを持つ児童生徒が義務教育課程を受ける上で重要な条件・要素となっており、現状のまま継続する。

外部評価委員の意見

スクールサポーターが各学校に手厚く配置され、個々に寄り添った支援がよく行われていると感じています。ただ、特別な支援を要する児童生徒は未だに多く、障がいの程度も多様化している状況なので、引き続き人員の確保と指導方法の工夫・改善に取り組んでいただければと思います。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 27	学校教育の充実

事業名：5 特別支援就学奨励費補助事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	315 千円
------------	-----	------------	-------	--------

事業概要

特別支援教育の普及奨励を図るため、就学奨励費の支給要件を充たす特別支援学校への児童生徒の保護者等の負担能力の程度に応じ、学用品、通学用品購入費、新入学用品費等の就学に必要な経費を補助する。

令和6年度の主な取組

○特別支援学級に就学している児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、就学に必要な経費の一部を助成した。

小学校

対象者 24 人 奨励費 190,960 円

補助内容 学用品・通学用品購入費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費

中学校

対象者 9 人 奨励費 124,319 円

補助内容 学用品・通学用品購入費、新入学用品費の助成

内部評価・成果

A

特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し制度の周知を行い、申請に基づく認定審査により認定した保護者に就学奨励費を支給して、就学に必要な経済的負担を軽減し、順調に実施されている。

課題・今後の方向性

特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及奨励を図るため、現状のまま継続する。

外部評価委員の意見

引き続き、制度の周知と助成に努め、保護者の物心両面の負担を少しでも軽減していただくことをお願いします。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 27	学校教育の充実

事業名：6 外国語指導助手派遣事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	15,840	千円
------------	-----	------------	-------	--------	----

事業概要

小中学校に外国語指導助手（ALT）を配置し、外国語による活発なコミュニケーションの機会をつくり、児童生徒の外国語学習への意欲や関心を高め、異文化理解を深めながら国際化に対応できるグローバルな人材の育成を図る。

令和6年度の主な取組

○外国語教育の充実を図るとともに、地域において国際交流の進展を図り、国際理解教育の推進を目的として、小中学校に外国語指導助手を派遣した。

派遣期間 4月～翌年3月
 派遣人数 3人（35時間／週）
 就業日 小学校／週3回 中学校／週2回
 委託費用 15,840,000円
 業務内容 英語教育、外国語活動、クラブ活動への参加、生徒との交流活動など

内部評価・成果

A

児童生徒が英語に触れたり慣れ親しむこと、積極的にコミュニケーションを図れる能力を養うことは、児童生徒の外国語教育及び国際理解の向上に努めており、順調に実施されている。

課題・今後の方向性

児童生徒の英語力の向上、国際社会を生きるため資質や能力を養わせることは町の責務であり、現状のまま継続する。

外部評価委員の意見

生の英語に接することは、非常に効果が高いものなので、今後も配置を継続し、外国語の授業の充実、英語力やコミュニケーション能力の向上、教員の指導力向上など、外国語指導助手（ALT）と連携した取り組みを進めていただくことをお願いします。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 27	学校教育の充実

事業名： 7 GIGA スクール構想推進事業

担当課	学務課	事業費	令和 6 年度	44,819	千円
------------	-----	------------	---------	--------	----

事業概要

国の GIGA スクール構想に基づき、1 人 1 台端末や高速大容量の通信ネットワーク等の学校 ICT 環境を整備・活用することによって、教育の質を向上させ、すべての子供たちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する。

令和 6 年度の主な取組

○国の GIGA スクール構想に基づき、1 人 1 台端末や高速大容量の通信ネットワーク等の学校 ICT 環境を整備・活用し、ICT 教育環境の充実を図った。

- ・ GIGA スクールサポート 2,194,500 円（学習用端末・ネットワークのサポート等）
- ・ 校務支援システム賃貸借 4,271,520 円（統合型校務支援システム賃貸借）
- ・ 小学校校務用パソコン等機器購入 35,200,000 円
（サーバ 3 台、ノートパソコン 90 台、カラープリンタ 9 台、モノクロプリンタ 3 台）
- ・ フィルタリングソフトウェア調達（小学校 3 校、中学校 3 校）
- ・ インターネットプロバイダ使用料（小学校 3 校、中学校 3 校）

内部評価・成果

A

国の第 1 期 GIGA スクール構想に基づき、児童生徒に 1 人 1 台に学習用端末の整備により、授業での意欲向上、理解促進、思考力・表現力の向上が図られ、順調に実施されている。

課題・今後の方向性

情報技術の革新が進む現代において ICT 教育は欠かせない要素となっているが、これまで導入した端末の更新に加え、高速大容量の通信ネットワークの整備、校務 DX の推進、更なる児童生徒への ICT 活用を行うなど、事業を拡大して実施する。

外部評価委員の意見

端末の更新等も含め、引き続き ICT 環境の整備・充実に努めていただくとともに、有効活用を進めていくために、教員の指導力向上の方策や ICT 指導員の配置等についても検討が必要となってくるのではないかと思います。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 27	学校教育の充実

事業名： 8 教科書指導書購入事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	15,036	千円
------------	-----	------------	-------	--------	----

事業概要

「学習指導要領」に基づく指導方法の工夫・改善や、個性を伸ばす多様な教育や生活指導等を実施するため、小中学校の教師用教科書と教材を購入する。

令和6年度の主な取組

○小学校教科書改訂に伴い、教師用教科書・指導用教材を購入・配布した。

小学校教師用教科書及び指導用教材購入代金（前期用）
購入費用 13,679,291 円 教科書 433 冊 指導用教材 536 冊

小学校教師用教科書及び指導用教材購入代金（後期用）
購入費用 1,356,638 円 教科書 90 冊 指導用教材 121 冊

内部評価・成果

A

国の教科書検定に基づき、4年に一度、指導用必要な教科書等を選定し購入することで、授業の質の向上と指導力の安定を図り、順調に実施されている。

課題・今後の方向性

教員が学習計画を作成し、児童に対して、基礎・基本力の確実な定着と個性を生かす教育の充実を推進する上で必要であることから、現状のまま継続する。

外部評価委員の意見

デジタル教科書への対応も含め、可能な限り、教員の要望に沿った購入をしていただけるようお願いします。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 27	学校教育の充実

事業名： 9 就学援助事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	3,426	千円
------------	-----	------------	-------	-------	----

事業概要
<p>経済的な理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対し、教育に必要な経費を援助することにより、保護者の経済的負担を軽減し、義務教育の円滑な実施に資する。</p>

令和6年度の主な取組
<p>○町内に在住し、経済的理由で就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して、学用品・校外活動費、卒業アルバム代を援助した。</p> <p>小学校 対象者 59人 援助額 1,541,805円 援助内容 学用品・校外活動費、卒業アルバム代、新入学用品費</p> <p>中学校 対象者 52人 援助額 1,883,740円 援助内容 学用品・校外活動費、卒業アルバム代、新入学用品費</p>

内部評価・成果	A
<p>就学に必要な経費を補助することにより、保護者の経済的負担を軽減し、教育機会の均等の保持を図ることができ、順調に実施されている。</p>	

課題・今後の方向性
<p>経済的な理由により、就学が困難な保護者に対して支援を行うことは、町が行う事業として妥当であることから、現状のまま継続する。</p>

外部評価委員の意見
<p>児童生徒が安心して学校生活を過ごせるよう、引き続き援助をお願いします。</p>

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 27	学校教育の充実

事業名：10 奨学資金貸付事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	11,850	千円
------------	-----	------------	-------	--------	----

事業概要
教育の機会均等を図るため、能力があるにもかかわらず経済的理由により修学が困難な学生・生徒に対して学資の貸付を行い、広く有能な人材を育成する。

令和6年度の主な取組
○町内に在住し、高等学校・大学などに進学予定または在学中で経済的理由により修学が困難な学生・生徒に対し、奨学金を貸付した。償還対象者については、本人及び世帯の状況を把握しながら、返還計画の相談や変更を随時行った。
奨学金貸付
新規貸付者 26人（新規5人）
貸付者内訳 高等学校1人、専門学校7人、大学18人
貸付総額 11,850,000円
返還滞納者 一般会計5人（1,624,000円） 奨学基金14人（2,878,200円）

内部評価・成果	A
経済的理由により修学が困難な学生・生徒に対し、奨学金を貸付することで修学機会の確保につながっており、順調に実施されている。	

課題・今後の方向性
経済的な理由により、修学が困難な学生・生徒に対して支援を行うことは、町が行う事業として妥当であるが、返還滞納者へ効果的な取組みが必要であるため、改善しながら継続する。

外部評価委員の意見
経済的に修学が厳しい生徒でも、意欲を持って学ぶことができるよう、継続して支援をお願いします。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 27	学校教育の充実

事業名：11 学校保健事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	10,393	千円
------------	-----	------------	-------	--------	----

事業概要

学校保健安全法に基づいた定期健康診断や就学時健康診断、労働安全衛生法に基づいた教職員ストレスチェックを実施し、その結果に基づいた治療勧告や事後指導により、児童生徒及び教職員の健康の保持と増進を図る。

令和6年度の主な取組

○定期健康診断や就学時健康診断を実施し、病気の早期発見や予防を行った。また、保護者や学校医等との連携を緊密にすることで、事後指導や治療勧告を充実し、児童生徒の健康の増進を図った。さらに児童生徒の適正な就学指導を行った。

定期健康診断

対象者 南部町立小中学校の児童・生徒（886人、うち受診者886人）

就学時健康診断

対象者 翌年4月に小学校に入学予定の児童（90人、うち受診者90人）

○教職員ストレスチェックを実施し、ストレスへの気付き及びその対応の支援並びに職場環境の改善を通じて、メンタルヘルス不調となることを未然に防止した。

内部評価・成果

B

各種健診を実施し、有所見者に適切な指導や治療を行うことにより、児童生徒・教職員の健康保持増進が図られており、おおむね順調に実施されている。

課題・今後の方向性

学校保健安全法及び労働安全衛生法に規定され、児童生徒・教職員の健康保持増進、感染症予防及び蔓延防止、公衆衛生の向上等に関する事業であるため、町が行う事業として妥当であり、現状のまま継続する。

外部評価委員の意見

児童生徒の健康増進はもちろん、教職員の健康維持・悩み改善のために継続をお願いします。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 27	学校教育の充実

事業名：12 学校体制適正化検討事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	0 千円
------------	-----	------------	-------	------

事業概要

町立小中学校の将来を見据えた学校規模及び学校配置の適正化を推進し、児童生徒にとって、より良い教育環境と質の高い学校教育を実現するため、学識経験者、保護者、学校関係者等による検討委員会を設置し、学校規模適正化の取組みを推進する。

令和6年度の主な取組

- 中学校統合に関するアンケートを9月に実施した。(対象者812人、回答者669人、回答率82.4%)
- 中学校統合に関するアンケート結果説明会を12月に3地区で実施した。
- 将来を見据えた学校規模及び学校配置の適正化を推進し、児童生徒にとって、より良い教育環境と質の高い学校教育を実現するため、今後の中学校の統廃合の是非も含む総合的な方策を審議する「検討委員会」の設置に向け、要綱案や委員選定についての協議を行った。

内部評価・成果

A

中学校統合に関するアンケートを実施し、保護者が期待することや懸念されていることを把握することができ、今後の学校規模及び学校配置の適正化に向け、順調に実施されている。

課題・今後の方向性

児童生徒にとって、より良い教育環境と質の高い学校教育を実現するため、「南部町立中学校統廃合検討委員会」を設置し総合的な方策を審議するため、事業を拡大する。

外部評価委員の意見

より良い教育の質と生徒の健やかな成長の実現のため、中学校統廃合も含めた今後の総合的な方策について、真摯な協議が進められたと思います。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 27	学校教育の充実

事業名：13 教育施設維持整備事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	74,817	千円
------------	-----	------------	-------	--------	----

事業概要

児童生徒等の学習・生活の場であるとともに非常災害時には避難所として地域住民の避難生活の拠点としての役割も担う教育施設を常に健全な状態を維持できるよう、適切に維持管理やバリアフリー化への改修等を行う。

令和6年度の主な取組

- 学校保健安全法に基づき、児童生徒等の安全の確保を図るため、建物の修繕を行った。
- 学校保健安全法施行規則に基づき、施設の維持・警備のほか、児童生徒等が通常使用する設備や遊具の異常の有無についての点検を行った。
- 安全・安心で質の高い学校施設の整備のため、福地小学校トイレ改修と名川小学校職員用トイレ改修工事を行った。
- 障がいのある児童生徒が、支障なく安心して学校生活を送ることができるよう、名川小学校北側にスロープを設置した。

内部評価・成果

B

児童生徒等の安全の確保を図るための予算を確保し、建物の修繕や点検、改修工事を行い、おおむね順調に実施されている。

課題・今後の方向性

学校教育法で、「学校の設置者は、その設置する学校を管理し経費を負担する」と定められており、安全で快適な学校施設を維持するため、現状のまま継続する。ただし、経年劣化に対応するためには、優先順位を適切に判断し実施する。

外部評価委員の意見

児童生徒の安全確保とより良い教育環境、そして地域の拠点としての学校施設設備の機能維持のため、適切な状態把握と必要度に応じた改修を行っていただくようお願いいたします。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 27	学校教育の充実

事業名：14 教育施設図書整備事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	3,050	千円
------------	-----	------------	-------	-------	----

事業概要

学校図書館の図書について、社会の変化や学問の進展を踏まえた児童生徒にとって正しい情報に触れる環境整備の観点から、「南部町児童生徒みらい基金」を活用して計画的に図書の購入・更新を行い、児童生徒の健全な教養を育成する。

令和6年度の主な取組

○「南部町児童生徒みらい基金」を活用し、小中学校に図書購入費を配分して、学校図書の購入・更新を行った。

購入冊数 小中学校計 1,552 冊

福地小：400,000 円（190 冊）名川小：397,928 円（209 冊）南部小：400,000 円（211 冊）

福地中：600,000 円（391 冊）名川中：599,558 円（283 冊）南部中：600,000 円（268 冊）

小中学校図書管理ソフトサポート手数料：53,000 円

○南部町児童生徒みらい基金（令和5年9月創設・令和14年までの10年間）

残高：38,501,890 円

内部評価・成果

A

教育内容・教育環境の充実のため、毎年、小中学校で計画的に学校図書を購入・更新し、児童生徒の健全な教養を育成しており、順調に実施されている。

課題・今後の方向性

学校図書館法により、学校設置者（町）が図書の充実に努めるよう規定されている。今後は学校図書館司書の配置を検討するなど、改善しながら継続する。

外部評価委員の意見

南部町児童生徒みらい基金を図書の充実のために活用できていることは大変ありがたいことです。今後も図書の購入の仕方を工夫したり図書館司書の配置の検討を進めたりするなどして、読書好きの子どもが一層増える取り組みを期待します。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 27	学校教育の充実

事業名：15 教育施設開放事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	0 千円
------------	-----	------------	-------	------

事業概要

学校教育や施設管理に支障のない範囲において、地域住民のスポーツ・レクリエーション及び学習文化活動のために小中学校等を開放し、地域住民が気軽に学べる環境づくりと地域に開かれた学校づくりに寄与する。

令和6年度の主な取組

○「南部町学校施設開放事業実施要綱」に基づき、地域住民のスポーツ・レクリエーション及び学習文化活動のため、学校教育に支障のない範囲で施設を開放した。

登録団体 18 団体（314 人）
 利用期間 4 月 1 日～翌年 3 月 31 日
 開放施設 福地小、名川小、福地中、名川中、
 旧福地小、旧杉沢小、旧剣吉小、旧向小

内部評価・成果

B

「南部町学校施設開放事業実施要綱」に基づき、地域住民の体育・スポーツ活動及び社会教育活動のため、計画的・継続的に施設を開放しており、おおむね順調に実施されている。

課題・今後の方向性

学校教育法、社会教育法、社会教育法、スポーツ基本法に基づく事業であり、登録団体の組織母体や利用現状等を把握し、改善しながら継続する。

外部評価委員の意見

今後も地域住民の学びや健康増進のため、施設開放と利用促進を進めていただくことをお願いします。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 27	学校教育の充実

事業名：16 なんぶちえりばす（スクール対応便）運行事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	31,151	千円
------------	-----	------------	-------	--------	----

事業概要
学校統廃合により、通学する学校が変更となる児童生徒の登下校の通学距離が遠距離になることから、町内を運行するコミュニケーションバスを利用した通学支援を行い、児童生徒と保護者の負担軽減を図る。

令和6年度の主な取組
○南部町町立小中学校児童生徒の通学用バスの運行を行い、子どもの安全確保（事故防止・犯罪対策）と遠距離通学・通学負担の軽減を図った。
業務期間 4月1日から翌年3月31日まで
業務場所 南部町内（39系統）
委託業者 岩手県北自動車株式会社
運行方法 道路運送法第4条の規定による
委託金額 31,150,284円
利用者数 122,026人（福地地区 28,849人、名川地区 66,400人、南部地区 26,777人）

内部評価・成果	A
遠距離通学の児童生徒にとって安心・安全な通学ができ、同時に保護者による送迎負担の軽減を図ることができ、おおむね順調に実施されている。	

課題・今後の方向性
運行経費は年々増加傾向にあるが、児童生徒の登下校の安全確保のための一つの有効な手段であり、必要不可欠な事業であることから、路線や時刻など現状の課題等を把握し、改善しながら継続する。

外部評価委員の意見
学校統廃合が進み、通学用バスの重要性はとても高いので、運行路線や時刻、乗車マナーなど、課題の把握・改善に努めながらより良い運行が行われるよう望みます。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 27	学校教育の充実

事業名：17 小学校国内交流事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	1,350	千円
------------	-----	------------	-------	-------	----

事業概要

南部の縁に結ばれた山梨県南部町の児童と本町の児童との交流を通じて、ふるさとの歴史や自然などについて理解を深めるとともに、新しい時代の主役となる児童たちの友情や愛郷心を育む。

令和6年度の主な取組

○山梨県南部町の児童と本町の児童との交流を通じて、ふるさとの歴史や自然などについて理解を深めた。

団体名	南部町小学生国内交流事業団
団長	名川小学校長 釜田信子
行先	山梨県南部町
期間	7月24日～7月26日（2泊3日）
参加者	30人（福地小12人、名川小12人、南部小6人）、引率者8人
内容	歓迎式、交流会、記念品交換、ゲーム、カヌー体験、周辺施設の見学・自然観察、夕べの集い、お別れセレモニーなど

内部評価・成果

A

参加した児童から、「人を思いやる気持ち」「積極的に学ぶ気持ち」「周囲の人たちへの感謝する気持ち」が生まれ、大きく成長したなどの報告があり、事業は順調に実施されている。

課題・今後の方向性

物価等の高騰や児童数の減少のため、事業内容は見直す必要があるが、交流会等での経験を活かし、新しい時代の主役となる児童たちの友情や愛郷心を育むためにも、改善しながら事業を継続する。

外部評価委員の意見

ふるさとへの愛郷心や社会性を高めるため、とても価値のある事業です。少子化を踏まえた参加人数や事業の見直しも図りながら、継続していただくようお願いします。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 27	学校教育の充実

事業名：18 中学生海外派遣事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	18,392	千円
------------	-----	------------	-------	--------	----

事業概要

中学生を海外に派遣し、ホームステイ体験や訪問国の歴史・文化・産業等の視察、青少年との親善交歓等を行うことにより、国際協力の精神をかん養し、次代を担う青少年の健全育成を図るとともに、自主自立の心に目覚め、日々の学習意欲の向上を促す。

令和6年度の主な取組

○中学生を海外に派遣し、ホームステイ体験や訪問国の歴史・文化・産業等の視察を行った。

団体名	南部町中学生海外派遣事業団
団長	南部町教育委員会教育長 高橋力也
行先	カナダ バンクーバー
期間	10月25日～11月1日（6泊8日）
報告会	12月6日（南部町健康センター）
参加者	生徒23人（福地中8人、名川中11人、南部中4人）、引率者5人
内容	ホームステイを通して英会話の体験学習、訪問国の青少年との親善交歓、訪問国の生活習慣、歴史や文化の体験学習など

内部評価・成果

A

参加した生徒から「自分や日本について客観的に捉える機会が得られた」「自立心が身に付き、精神的に成長した」などの報告があり、外国語教育の充実を進めていくほか、生きた英語に触れることができていることから、事業は順調に実施されている。

課題・今後の方向性

急速なテクノロジーの発展や少子化により、人とのコミュニケーションを取る機会が減る中、参加した生徒がこの事業で学んだ経験を今後の学校生活に生かし、将来の更なる飛躍を期待できることから、現状のまま継続する。

外部評価委員の意見

広い視野とグローバルな感覚、自立心等の育成のため、事業名17「小学校国内交流事業」と同様にとっても価値のある事業なので、今後も継続をお願いします。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 27	学校教育の充実

事業名：19 小中学生給食費無償化事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	50,599	千円
------------	-----	------------	-------	--------	----

事業概要
子供の健やかな成長を支え、安心して子供を産み育てることができる環境づくりを促進するため、児童生徒の給食費を無償化する。また、諸事情により、給食を利用していない児童生徒には、弁当給食となるため、保護者へ支援金を給付する。

令和6年度の主な取組
<p>○小中学校に入学している児童生徒を持つ保護者に経済的負担を軽減するため、給食費を無償化した。(平成27年度からの継続事業)</p> <p>単価 小学校1食@300円、中学校1食@330円</p> <p>○アレルギーで給食を利用していない児童生徒には、弁当給食となるため、保護者へ支援金を給付した。</p> <p>対象者 小学校1人、中学校1人</p> <p>○事情により、町外小中学校へ通学する児童生徒の保護者には、在籍する学校より発行される証明書で食数を確認し、単価をかけた金額を支給した。</p> <p>対象者 小学校2人、中学校2人</p>

内部評価・成果	A
町では平成27年4月から児童生徒の給食費無償化を実施しており、民間企業が実施した「住み続けたい街ランキング(青森県版)」で高い評価を得ていることから、順調に実施されている。	

課題・今後の方向性
給食費の無償化は全国的に広がりを見せており、県は令和5年10月から、すべての小中学校の給食費を無償化することを決定しているため、現状のまま継続する。

外部評価委員の意見
子どもの健やかな成長と保護者の負担軽減のために、早くから事業が実施され、内外から高い評価を得ているととてもありがたい事業です。今後も社会情勢に合わせた実施をお願いします。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 27	学校教育の充実

事業名：20 地産地消・食育普及推進事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	66,204	千円
------------	-----	------------	-------	--------	----

事業概要

学校給食に地場産物を活用し、食に関する指導の教材として用いることにより、児童生徒がより身近に、実感を持って地域の食や食文化等について理解を深め、食料の生産、流通に関わる人々に対する感謝の気持ちを育む。

令和6年度の主な取組

- 取引業者に地場産物を扱っていただくよう依頼し、地域で生産されたものを地域で消費することで、食料自給率の向上に貢献した。
- 毎年6月と11月、県では「食育月間」と定め、「ふるさと産品給食の日」を設けており、町でも地元食材を数多く取り入れた給食を提供した。
- 南部町産米のまっしぐらに県産牛のバラ焼きとハンバーグを乗せ、目玉焼きをトッピングした特別メニュー「がんばる丼」や、町内で収穫したサクランボ品種「ジュノハート」の提供、栄養教諭による食の出前授業、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることを目的として「バイキング給食」を行うなど、地域の食材や食文化について学習する機会を設けた。
- 毎月1回、給食だよりを発行し、食の大切さや栄養バランス、健康を維持するための知識を各家庭へ伝えた。

内部評価・成果

A

学校給食に地場産物を活用し、「がんばる丼」や「ジュノハート」の提供のほか、児童生徒がより身近に、実感を持って地域の食や食文化等についての学習機会を設けるなど、順調に実施されている。

課題・今後の方向性

学校での食育は、児童生徒が食に関する知識や技術を身に付け、健康的な生活を送るための基礎を築く教育であり、引き続き、栄養バランスの優れた献立の工夫など、食育の推進を図りながら、現状のまま継続する。

外部評価委員の意見

学校給食を通して、地場産物のおいしさや良さを知ることができ、地域理解や健康生活の意識を高める適切な食育の機会なので、今後も積極的に地産地消を進めていただきたいと思います。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 28	生涯学習・社会教育の充実

事業名：21 特色ある生涯学習プログラム整備事業

担当課	社会教育課	事業費	令和6年度	235	千円
------------	-------	------------	-------	-----	----

事業概要
地域の特性を活かした学習機会の提供に努めるとともに、自主学習の支援を行う。

令和6年度の主な取組			
○南部氏の歴史や城郭など、年度ごとに地域の特性を活かしたテーマを設定して「南部ふるさと塾」を開催した。令和6年度は「戦国大名南部氏の興亡と街道」をテーマに全6回、延べ721人が参加した。			
9月28日	とうほく街道会議共同開催	参加人数	136人
11月9日	奥羽の城館と道	参加人数	112人
12月21日	南部修理大夫はひとりだったか	参加人数	107人
1月18日	永享の和賀・稗貫郡争乱と南部氏	参加人数	90人
2月22日	九戸政実の一揆と七戸一揆	参加人数	170人
3月22日	中世仙北金沢城と三戸南部氏の関係	参加人数	106人

内部評価・成果	B
前年度と比較し、参加者数はおおむね横ばいで維持している。 南部町の歴史PRに寄与し、ほぼ計画どおりに実施することができた。	

課題・今後の方向性
今後も地域の歴史的な特性を活かした魅力的な講演シリーズを企画し、学習機会の提供を図りながら現状のまま継続する。

外部評価委員の意見
町の歴史について、魅力ある講演を企画・継続され、多くの参加者を得ているので、今後も興味・関心を高めるテーマを設定し、内外に多く学習機会を提供していただくことを期待します。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 28	生涯学習・社会教育の充実

事業名：22 生涯学習関連施設の整備充実事業

担当課	社会教育課	事業費	令和6年度	107,788	千円
------------	-------	------------	-------	---------	----

事業概要
公民館・体育館・運動場・町民ホール・名川中学校図書室1階等の社会教育施設の利用促進を図る。

令和6年度の主な取組														
<p>○社会教育・文化施設の年間利用者数 計 51,280 人</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">福地公民館：1,461 人</td> <td style="width: 50%;">福地公民館 苫米地分館：1,423 人</td> </tr> <tr> <td>剣吉公民館：6,012 人</td> <td>町民ホール：18,749 人</td> </tr> <tr> <td>名川中学校図書室1階：12,515 人</td> <td>南部公民館：4,848 人</td> </tr> <tr> <td>南部芸能伝承館：4,263 人</td> <td>史跡聖寿寺館跡案内所：2,009 人</td> </tr> </table> <p>○社会体育施設の年間利用者数 計 76,973 人</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">海洋センター：18,795 人</td> <td style="width: 50%;">南部町民体育館：20,669 人</td> </tr> <tr> <td>福地運動公園：3,898 人</td> <td>福地体育センター：17,135 人</td> </tr> <tr> <td>ふるさと運動公園：16,476 人</td> <td></td> </tr> </table>	福地公民館：1,461 人	福地公民館 苫米地分館：1,423 人	剣吉公民館：6,012 人	町民ホール：18,749 人	名川中学校図書室1階：12,515 人	南部公民館：4,848 人	南部芸能伝承館：4,263 人	史跡聖寿寺館跡案内所：2,009 人	海洋センター：18,795 人	南部町民体育館：20,669 人	福地運動公園：3,898 人	福地体育センター：17,135 人	ふるさと運動公園：16,476 人	
福地公民館：1,461 人	福地公民館 苫米地分館：1,423 人													
剣吉公民館：6,012 人	町民ホール：18,749 人													
名川中学校図書室1階：12,515 人	南部公民館：4,848 人													
南部芸能伝承館：4,263 人	史跡聖寿寺館跡案内所：2,009 人													
海洋センター：18,795 人	南部町民体育館：20,669 人													
福地運動公園：3,898 人	福地体育センター：17,135 人													
ふるさと運動公園：16,476 人														

内部評価・成果	B
前年度比、社会教育・文化施設は1,451人の増、社会体育施設は4,475人の減で、社会体育施設の減の要因は、部活動等の利用減によるものである。ほぼ計画どおりに施設管理を行うことができた。	

課題・今後の方向性
利用者の安全及び利便性の向上を目指し、改善しながら継続実施していく。

外部評価委員の意見
今後も利便性を高めたり、広報活動を工夫したりして、各施設の一層の利用促進を図っていただきたいと思います。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 28	生涯学習・社会教育の充実

事業名：23 公民館事業

担当課	社会教育課	事業費	令和6年度	2,555	千円
------------	-------	------------	-------	-------	----

事業概要
町民のニーズによる各種公民館講座を実施し、利用促進を図るとともに教養の向上、健康増進、情操の純化を図る。

令和6年度の主な取組
○自己の知識・能力の向上を図ることを目的に、「趣味の教室」を開催し、町民の興味関心のある16教室に225人が登録し、延べ2,890人が活動参加した。
○住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図ることを目的に、福地公民館において3種の「公民館講座」を開催した。
英会話教室 全12回 参加人数16人 受講延べ人数116人
アロマフィットネス講座 全10回 参加人数14人 受講延べ人数105人
ルーシーダットン教室 全10回 参加人数16人 受講延べ人数132人

内部評価・成果	B
趣味の教室及び3種の公民館講座の参加者数は増加傾向にある。町民の興味や関心の高い様々な分野のニーズに応え、教養の向上や健康増進に効果的な教室を開講し、ほぼ計画どおり実施することができた。	

課題・今後の方向性
町民が主体的に教室を運営し、その活動の継続を希望しているので、開催内容や場所、時間など、受講者の意見を取り入れ、改善しながら事業を継続することが望ましい。

外部評価委員の意見
参加者が増加し、主体的な運営も行われるようになってきているので、さらに参加者の要望を取り入れたり、周知の方法を工夫したりして、一層活発な事業を展開されることを期待します。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 28	生涯学習・社会教育の充実

事業名：24 地域教育事業

担当課	社会教育課	事業費	令和6年度	707	千円
------------	-------	------------	-------	-----	----

事業概要

児童生徒が地域に対する愛着の心を育むことを目的に、学校が要望する様々な分野の専門家や愛好家を地域から派遣する。

令和6年度の主な取組

○町内小・中学校の要望に応じて、各分野の専門家、愛好家を学校教育活動の講師として依頼・派遣する「学校と地域ネット推進事業」を実施した。
事業を通して地域の行事等に参加し、学校と地域の連携を強化し、児童生徒の地域に対する愛着の心を育む機会となった。

実施回数 小学校 117 回、中学校 80 回、合計 197 回

内部評価・成果

B

児童生徒の地域への理解や愛着を深めながら、教養の向上が図られた。また、地域人材への活動の場の提供をすることができ、ほぼ計画どおり実施することができた。

課題・今後の方向性

学校教育・社会教育ともに学習効果は大きいと考えられるが、指導者が減少していることから地域指導者の情報を収集し、改善しながら継続していく。

外部評価委員の意見

地域の人材を生かし、郷土の芸能や文化、スポーツなど、様々な分野で継承・体験活動が行われている貴重な事業です。指導者の確保等、将来を見据えた対応を工夫しながら、継続されていくことを期待します。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 28	生涯学習・社会教育の充実

事業名：25 家庭教育事業

担当課	社会教育課	事業費	令和6年度	180	千円
------------	-------	------------	-------	-----	----

事業概要
親子のコミュニケーションの機会をつくり、絆を深めることを目的として、様々な学習活動を提供する。

令和6年度の主な取組
<ul style="list-style-type: none"> ○親子での参加から絆を深めることを目的とした「おもしろ体験教室」 <ul style="list-style-type: none"> 8月18日 いちようホール ハーバリウム作り 参加人数：7組 13人 10月20日 バーデパーク アイス作り&読み聞かせ 参加人数：7組 22人 ○子どもの居場所・集いの場所作りのための「子どもシアター事業」 <ul style="list-style-type: none"> 12月1日 いちようホール 映画上映（アンパンマン）参加人数：98人 ○家庭での読み聞かせの普及を目的とした「読み聞かせおはなし会」 <ul style="list-style-type: none"> 開催回数 12回（月1回） 町民図書室 参加人数：延べ 106人 ※12月15日クリスマスおはなし会 ○読み聞かせの良さや手法、絵本の選び方を紹介「乳幼児健康相談読み聞かせ指導」 <ul style="list-style-type: none"> 開催回数 8回 健康センター 参加人数：延べ 151人

内部評価・成果	B
読み聞かせの大切さや楽しさ、手法の紹介など、家庭教育や子育てに関する様々な学習機会の提供から、親子や友人、参加者同士の交流が図られるなど充実した子育てに寄与しながら、ほぼ計画どおりに実施することができた。	

課題・今後の方向性
幼児期や学童期における家庭教育推進のため、今後も周知方法の工夫など改善しながら継続していく。

外部評価委員の意見
充実した家庭教育推進のため、取り組みの点検・見直しを進めながら、様々な学習機会を提供していただくことを期待します。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 28	生涯学習・社会教育の充実

事業名：26 高齢者生涯教育事業

担当課	社会教育課	事業費	令和6年度	153	千円
------------	-------	------------	-------	-----	----

事業概要
自発的学習体制による高齢者の生きがいづくりを目的として、「まべち笑楽校」を開催する。

令和6年度の主な取組み
○学校を模した学習活動「まべち笑楽校」を開催。
参加人数 13人（男性2人、女性11人） 平均年齢：76.0歳
実施回数 17回（月2回、8月・9月夏休み、1月冬休み）
学習活動 国語、算数、理科、社会、音楽、体育、保健、図画・工作、家庭科
特別活動 入学式、修学旅行、バス遠足、音楽会鑑賞、議会傍聴、夏・冬休み、防災教室、会社等見学 等

内部評価・成果	B
高齢者の自発的な活動の機会となり、参加者は笑顔で明るい雰囲気でも学習できていた。学習内容は、参加者の話し合いで出た意見を取り入れ、南部町に関わる内容や講師を依頼するなど地域間の交流にも寄与し、ほぼ計画どおりに実施することができた。	

課題・今後の方向性
地域高齢者の生きがいづくり、地域間の交流の場として機能しており、今後も参加者の意見を取り入れながら継続していく。

外部評価委員の意見
高齢者の交流や生きがいづくりのため、今後も学びや内容を充実させていくとともに、参加者を増やす工夫もしながら、楽しく学習活動を展開していただくことを期待します。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 29	生涯スポーツの振興

事業名：27 運動公園及び体育施設管理事業

担当課	社会教育課	事業費	令和6年度	69,639	千円
------------	-------	------------	-------	--------	----

事業概要
ふるさと運動公園、ふくち運動公園、町民体育館、名川B & G海洋センター、福地体育センターの機能及び性能の保持に努める。

令和6年度の主な取組	
○町内「社会体育施設」に係る費用	
海洋センター費	17,261 千円
南部町民体育館費	6,940 千円
福地運動公園費	8,428 千円
福地体育センター費	1,967 千円
平運動公園費	432 千円
ふるさと運動公園費	34,611 千円

内部評価・成果	B
施策の実現に貢献する事業が、ほぼ計画どおりに実施することができた。	

課題・今後の方向性
利用者の安全及び利便性の向上を目指し、改善しながら継続実施していく。

外部評価委員の意見
今後も安全かつ有効に活用されるよう、適切な管理をお願いします。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 29	生涯スポーツの振興

事業名：28 スポーツ指導者育成・活動支援事業

担当課	社会教育課	事業費	令和6年度	1,284	千円
------------	-------	------------	-------	-------	----

事業概要
<p>スポーツ推進委員を委嘱し、指導者の確保を行う。また、研修会等により指導技術の向上が図られ、各種スポーツの指導や各種大会の協力が得られる体制を整える。</p>

令和6年度の主な取組
<p>○町スポーツ推進委員協議会で定期開催する会議において、町民運動会を含む各種スポーツ大会の内容を検討、大会当日は参加者にあわせた競技説明や審判員を担当し、競技の普及振興に努めた。そのほか、三八地区スポーツ推進委員研修会へ参加した。</p> <p>【南部町スポーツ推進委員の活動】 総合優勝制スポーツ大会 ニュースポーツinスクール ニュースポーツ移動教室 町民運動会</p>

内部評価・成果	B
<p>スポーツ推進委員としての指導技術、資質の向上が図られ、ほぼ計画どおりに実施することができた。</p>	

課題・今後の方向性
<p>町スポーツ推進委員との連携を強化し、各種スポーツ大会・教室への協力体制を整える。引き続き三八地区をはじめとする研修会に積極的に参加してもらい、指導者の資質向上を図るため、現状のまま継続する。</p>

外部評価委員の意見
<p>今後も指導員の確保と指導技術の向上に努められ、幅広いスポーツの普及が進められていくことを期待します。</p>

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 29	生涯スポーツの振興

事業名：29 スポーツ大会支援事業

担当課	社会教育課	事業費	令和6年度	6,066	千円
-----	-------	-----	-------	-------	----

事業概要
町スポーツ協会及び所属団体主催による各種スポーツ教室、ナイター等の各種大会を支援し、地域間の交流を図る。

令和6年度の主な取組
<p>○町スポーツ協会へ運営事業補助金を交付し、スポーツ協会所属各競技協会主催による各種スポーツ教室・大会を支援した。</p> <p>○走ることに親しんでもらうことや健康の維持・増進を目的として「果樹の里なんぶりレーマラソン」を開催した。</p> <p>11月10日(日) 参加 57チーム 340人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クォーター 小学生 20チーム 112人 (町外 18チーム) <li style="padding-left: 20px;">中学生 10チーム 59人 (町外 5チーム) <li style="padding-left: 20px;">一般 9チーム 51人 (町外 7チーム) ・ハーフ 一般 18チーム 118人 (町外 16チーム)

内部評価・成果	B
各種スポーツ教室・大会を支援することで、町民のスポーツ能力の向上及び地域間・世代間の交流を推進することができた。また、リレーマラソンを開催することで、地域間・世代間の交流を推進するとともに健康の維持増進を図ることができ、両事業ともにほぼ計画どおり実施することができた。	

課題・今後の方向性
スポーツ協会所属各競技協会主催による各種スポーツ教室・大会を支援するとともに、リレーマラソンを現状のまま継続開催し、引き続き町民が参加できるスポーツ大会・教室の充実を図る。

外部評価委員の意見
町民が気軽に参加できるスポーツ教室や大会、リレーマラソンの開催等、内容の工夫・見直しを進めながら、一層の充実と参加拡大が図られることを期待します。

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 29	生涯スポーツの振興

事業名：30 生涯スポーツ(ニュースポーツ)普及推進事業

担当課	社会教育課	事業費	令和6年度	596 千円
------------	-------	------------	-------	--------

事業概要
ニュースポーツの普及のため各学校への紹介や、一般町民を対象に教室や大会を開催する。

令和6年度の主な取組
<p>○スポーツ推進委員が、希望する町内の各団体（主に親子レクが多い）に対し、ニュースポーツを指導した。（ボッチャ、カローリング、ドッチビーなど）</p> <p>ニュースポーツinスクール 実施を希望する町内小中学校のクラブ活動等を利用し開催 実施回数 3回、参加人数：延べ57人（小学校1校）</p> <p>ニュースポーツ移動教室 実施を希望する町内各団体（親子レク等）に対し開催 実施回数 14回、参加人数：延べ714人（13団体）</p> <p>総合優勝制スポーツ大会として、4種目のニュースポーツ大会を開催</p>

内部評価・成果	B
<p>ニュースポーツinスクール及びニュースポーツ移動教室は、各学校や各団体などに周知を徹底することで、実施団体が増加した。また、総合優勝制スポーツ大会での実施により、町民の健康の維持・増進、ニュースポーツの普及を図ることができ、ほぼ計画どおり実施することができた。</p>	

課題・今後の方向性
<p>総合優勝制の実施種目や種目開催時期を見直し、参加チームや町内会などの各団体に引き続き周知を徹底することで、事業の普及を改善しながら継続していく。</p>

外部評価委員の意見
<p>誰でも取り組みやすいニュースポーツの各学校や親子、各団体等への周知・利用促進を図って、生涯スポーツとして幅広い年齢層に普及・拡大が進められていくことを期待します。</p>

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 30	青少年健全育成の推進

事業名：31 青少年団体活動事業

担当課	社会教育課	事業費	令和6年度	1,100	千円
------------	-------	------------	-------	-------	----

事業概要
子ども会育成連絡協議会に助成支援をしながら、ジュニアリーダーの育成に努める。

令和6年度の主な取組
<p>○南部町子ども会育成連絡協議会へ事業補助金を交付し、子ども会の自主的活動の支援を行った。</p> <p>【南部町子ども会育成連絡協議会活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ジュニアリーダー研修会 青森県子ども会指導者・育成者研修会 三八子ども会ブロック研修会 青森県子ども会会議 町子連ビーチバレー大会開催 単位子ども会育成 <p>加入者数 419 人（子ども 298 人、大人 121 人）</p>

内部評価・成果	B
<p>加入者数の減少はあるが、自主的な子ども会活動が行われ、青少年健全育成及び地域教育力の向上に付与し、地域間の子どもや保護者の交流の機会となり、施策実現のためほぼ計画どおり実施することができた。</p>	

課題・今後の方向性
<p>ジュニアリーダー、育成指導者の養成及び単位子ども会活動が活発に行われており、今後も現状のまま継続する。</p>

外部評価委員の意見
<p>活発な子ども会活動の取り組みとジュニアリーダーや指導者の育成のために、今後も連携をしっかりと行いながら支援をお願いします。</p>

政策 11	未来を担う人づくりの推進
施策 31	幅広い視野を持つ人材の育成

事業名：32 国内交流推進事業

担当課	社会教育課	事業費	令和6年度	500 千円
-----	-------	-----	-------	--------

事業概要

南部氏の歴史と南部地方に関する学問を取り扱った講演会等を開催し、南部藩発祥の地をPRするとともに南部氏ゆかりの市町との交流を図る。

令和6年度の主な取組

- 北条時頼公の廻国伝説をもとに、白華山法光寺に関する内容と清藤家（平川市）に伝わる時頼公の寵姫「唐糸御前」の伝説についての講演会「法光寺歴史講演会」を開催した。
4月21日 法光寺本堂1階大広間 参加人数 55人（町内47人）
- 南部町初開催、北東北の城館と街道にスポットを当て、基調講演やシンポジウム・街道探訪・情報交換会など、2日間にわたり「とうほく街道会議」を開催した。
9月28日 町民ホール 基調講演・研究発表他 参加人数 137人
9月29日 奥州街道コース・法光寺街道コース 街道探訪会 参加人数 34人

内部評価・成果

B

2件の講演会等の参加者には、地域の伝統と歴史の奥深さを味わいながら、地域資源の価値を再発見していただくことができたと考える。特に「とうほく街道会議」では、東北各県の街道愛好家による情報交換が活発に行われていた。両事業ともに、ほぼ計画どおり実施することができた。

課題・今後の方向性

今回の2件のイベントは単年度開催のため事業は終了となるが、歴史に関する講演会は一定の需要があるため、今後も南部町の歴史を活かした事業の開催を検討していく。

外部評価委員の意見

今後も講演会等を企画・継続し、南部氏や南部地方の歴史・文化について、探求と交流を深めていただくことを希望します。

政策 12	貴重な地域文化の継承と新たな文化の創造
施策 32	芸術・文化の振興

事業名：33 芸術及び文化団体育成・支援事業

担当課	社会教育課	事業費	令和6年度	2,699	千円
------------	-------	------------	-------	-------	----

事業概要
町民の自主的な活動として、文化協会等団体の育成と支援に努める。

令和6年度の主な取組
○町からの補助金交付により、芸術、文化の振興及び普及活動、文化祭の開催など各種芸術文化事業を展開。その他、児童文化活動団体の大会出場補助金を交付。
【文化協会活動】登録団体 49 サークル 視察研修会 秋田芸術村 参加人数 25 人 講演会 いちようホール 参加人数 26 人 作品展示発表会（名川地区） 剣吉公民館 参加団体 9 サークル 文化フェスティバル（名川地区） 町民ホール 参加団体 17 サークル 芸能文化祭・作品展示会（福地地区） ゆとりあ 参加団体 12 サークル 視察研修会 十和田市他 参加人数 33 人

内部評価・成果	B
各サークルでの積極的な活動から町の芸術・文化の発展に寄与しており、ほぼ計画どおり実施することができた。	

課題・今後の方向性
多種多様な 49 サークルを取りまとめ、また児童文化活動団体への補助、芸術・文化の発展及び組織強化に取り組んでいるため、現状のまま補助金の交付を継続する。

外部評価委員の意見
多種多様な文化的活動が積極的に展開されているため、今後も支援を継続していただくとともに、高齢化が進んでいるので、若いシニア層への普及・参加も期待しています。

政策 12	貴重な地域文化の継承と新たな文化の創造
施策 32	芸術・文化の振興

事業名：34 南部七唄七踊り全国大会開催事業

担当課	社会教育課	事業費	令和6年度	3,180	千円
------------	-------	------------	-------	-------	----

事業概要
南部七唄七踊り全国大会を開催する。

令和6年度の主な取組
<p>○「南部七唄」と「南部七踊り」の一層の啓発・普及及び後継者育成を目的として、町補助金を活用して実行委員会を組織し、「南部七唄七踊り全国大会」を開催した。</p> <p>○令和6年度は、「七唄の部」が第25回目、「七踊りの部」が第30回目を迎える記念大会となることから、記念イベント 南部と津軽「唄・踊りの響演」を開催した。</p> <p>期 日 9月22日（日） 南部町民ホール「楽楽ホール」 参加者 七唄 小学生の部4人、中高生の部2人 七踊り 子どもの部23人、大人の部24人 参加人数 計53人</p>

内部評価・成果	B
町内外から出場申込があり、前年度と同程度の出場者を維持できている。また、大会の様子をテレビ放送することで、町の無形民俗文化財となっている南部七唄・七踊りの啓発、普及及び後継者育成に一定の効果が得られている。事業は、ほぼ計画どおりに実施することができた。	

課題・今後の方向性
南部七唄・七踊りの披露の場を提供し後継者育成を図っているほか、テレビ放送や大会の観覧から啓発、普及に一定の効果をj得ることができているため、現状のまま継続して実施する。

外部評価委員の意見
伝統的な大会が今後も多くの参加者のもとで開催されていくことを願うとともに、さらなる普及・拡大と後継者の育成が順調に進められることを願っています。

政策 12	貴重な地域文化の継承と新たな文化の創造
施策 33	歴史・文化遺産の保存と伝承

事業名：35 史跡聖寿寺館跡等発掘調査事業

担当課	社会教育課	事業費	令和6年度	29,092	千円
------------	-------	------------	-------	--------	----

事業概要
史跡聖寿寺館跡をはじめとする南部氏関連城館等の発掘調査を進め、町の歴史的な価値を高めていく。また、開発対応試掘調査を実施する。

令和6年度の主な取組
<p>○今後の調査方針について文化庁と協議を進めるため、聖寿寺館跡の発掘調査実施を見合わせ、令和10年度末に刊行予定の総括報告書作成に向け、過年度出土遺物の整理作業を行った。 出土遺物整理 令和6年5月1日～令和7年3月31日 作業員12人</p> <p>○瑞泉寺位牌堂建替えに伴い、福田館跡の試掘調査を実施し、中世の竪穴建物跡を2棟確認した。</p>

内部評価・成果	B
総括報告書刊行のための整理作業では、過年度の未整理遺物の実測やトレース作業、写真撮影・画像調整を進め、ほぼ計画どおりに実施することができた。	

課題・今後の方向性
令和10年度末刊行予定の総括報告書に係る整理作業を、計画的に改善しながら継続していく。

外部評価委員の意見
聖寿寺館跡発掘調査の総括報告書作成に向け、計画的に整理・まとめが進められることを願うとともに、町文化財の確認・保存もしっかり行われていくよう、継続をお願いします。

政策 12	貴重な地域文化の継承と新たな文化の創造
施策 33	歴史・文化遺産の保存と伝承

事業名：36 史跡聖寿寺館跡整備事業

担当課	社会教育課	事業費	令和6年度	656	千円
------------	-------	------------	-------	-----	----

事業概要
史跡聖寿寺館跡の発掘調査成果に基づき、史跡公園としての整備を進めていく。

令和6年度の主な取組
<ul style="list-style-type: none"> ○発掘調査成果に基づく史跡整備の検討のため、史跡聖寿寺館跡調査整備委員会を2回開催した。 ○文化庁とオンライン協議を実施した。 ○史跡ガイドは3人が養成講座を修了した。ガイドは平成31年度の発足以来過去最高の28団体540人を案内した。 ○聖寿寺館跡の大型掘立柱建物跡の位置や規模を示した簡易遺構表示を設置した。 ○南部御城印プロジェクトは現在16城館（青森県・岩手県・秋田県）が参加。聖寿寺館跡御城印は令和6年度末現在で累計3,731枚を販売した。

内部評価・成果	B
史跡聖寿寺館跡整備委員会及び専門部会の開催、文化庁との協議、史跡ガイドの養成他施策実現に向け、ほぼ計画どおりに実施することができている。	

課題・今後の方向性
令和11年度に保存活用計画策定、令和12年度に整備基本計画改定、令和13年度に基本設計作成、令和14年度から整備工事を再開する予定。今後も史跡公園としての整備に向け、様々な面を改善しながら継続していく。

外部評価委員の意見
町の貴重な歴史遺産として、町民や内外の歴史愛好家にとって、見応えのある価値の高い史跡公園として、計画的に整備が進められることを大いに期待しています。

政策 12	貴重な地域文化の継承と新たな文化の創造
施策 33	歴史・文化遺産の保存と伝承

事業名：37 展示・収蔵・学習施設の整備・活用事業

担当課	社会教育課	事業費	令和6年度	256,158	千円
------------	-------	------------	-------	---------	----

事業概要
史跡聖寿寺館跡の出土品や貴重な文化財などの郷土資料を常時展示・収蔵し、町内外の人々に本町の歴史を伝えることができるような施設整備に努めるとともに、案内標識などの整備及び充実を図る。

令和6年度の主な取組
○整備工事及び施工監理、展示制作業務に着手した。

内部評価・成果	A
整備工事は予定どおりの工程で進み、展示制作業務は解説パネル等のデザインが完成した。計画どおりに実施することができた。	

課題・今後の方向性
引き続き整備工事及び展示制作を進めていく。同時並行で展示パネル等に掲載する資料の掲載許可申請を行う必要がある。パネルや展示照明など展示制作については専門家の意見を踏まえながら進めていく。現状のまま継続する。

外部評価委員の意見
南部氏や町の貴重な歴史・文化財などがよくわかり、伝わるような展示施設が整備されるよう期待しています。史跡公園や展示施設、奥州街道などが、学校の地域を学ぶ機会として大いに活用されることを願っています。

政策 12	貴重な地域文化の継承と新たな文化の創造
施策 33	歴史・文化遺産の保存と伝承

事業名：38 伝統芸能保存・継承事業

担当課	社会教育課	事業費	令和6年度	1,340	千円
------------	-------	------------	-------	-------	----

事業概要
郷土芸能発表機会の充実を図り、郷土芸能の指導者及び後継者の育成に努めるとともに、郷土芸能保存団体や子どもの継承活動の支援に努める。 郷土芸能の歴史的背景を調査し、保存していく。

令和6年度の主な取組
○郷土に根ざして継承されてきた芸能を保護し、さらに後世に引き継ぐために後継者の育成に努める団体に対し補助を行う。
【補助金内訳】
南部町郷土芸能保存会 370 千円
無形民俗文化財保存・活用事業（17 団体） 340 千円
無形民俗文化財後継者育成事業（9 団体） 180 千円
郷土芸能後継者育成事業（南部七唄七踊り子ども教室） 450 千円

内部評価・成果	B
町指定民俗文化財の継承活動に有効活用され、後継者育成につながっていることから、施策実現に向けてほぼ計画どおりに実施することができた。	

課題・今後の方向性
伝統芸能の保存と次世代への継承には必要不可欠な事業であり、郷土芸能保存会や郷土芸能継承者より事業の継続の要望が寄せられており、今後も継続していく。

外部評価委員の意見
郷土の伝統芸能の保存と継承のため大事な事業なので、後世まで支援を継続していただくことを望みます。

政策	その他
施策	社会情勢の変化等により新たに取り組んだ事業

事業名：39 名久井農業高等学校支援事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	9,120	千円
-----	-----	-----	-------	-------	----

事業概要

県立学校の統廃合の議論が進む中、町内唯一の県立高校である名久井農業高等学校の存続に向け、令和4年度から全国募集を導入し、地域みらい留学生を受け入れているほか、町外から入学する生徒の保護者の経済的負担を軽減する取組みを行う。

令和6年度の主な取組

- 名久井農業高等学校魅力化コーディネート業務（2,233,935円）
高校と町をつなぐコーディネーターとして、高校と町の協働による魅力ある高校づくりを推進するとともに、入学後、安全・安心な学校生活を送るための受入体制の構築及びサポートを行った。
- なんぶ留学生サポート業務（4,363,480円）
なんぶ留学生が暮らす寮で、朝・夜の食事の提供や清掃、緊急時の対応を行った。
- 名久井農業高等学校通学等支援補助金（1,860,000円）
将来にわたり名久井農業高等学校が存続されるよう、町外から修学する生徒62人に交通費等経費30,000円を補助した。
- そのほか、なんぶ留学生生活等費用助成金や名久井農業高等学校寮生・なんぶ留学生への達者米支援を行った。

内部評価・成果

A

町内唯一の県立高校である名久井農業高等学校の存続及び子育て世代の経済的負担を軽減する取組みなどを行うことにより、生徒数を確保することができており、地域に根ざした農業教育と活発な地域貢献活動を通じて、順調に実施されている。

課題・今後の方向性

公立学校の統廃合の議論が進む中、町内唯一の県立高校である名久井農業高等学校の存続に向け、現状を把握し、改善しながら継続する。

外部評価委員の意見

町内唯一の貴重な県立高校の維持・存続に向け、今後も魅力ある取組みが継続・工夫され、生徒数の確保と町・高校協働の充実した学びが進められることを願っています。

政策	その他
施策	社会情勢の変化等により新たに取り組んだ事業

事業名：40 新入学児童ランドセル購入事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	4,335	千円
------------	-----	------------	-------	-------	----

事業概要

小学校に入学する児童を持つ保護者の経済的負担を軽減し、健全な育成を図るため、児童の保護者に対してランドセル購入費を補助する。

令和6年度の主な取組

○小学校に入学する児童を持つ保護者に対して、償還払いでランドセル購入費を補助し、保護者の経済的負担を軽減した。

実施期間 令和6年10月から令和7年3月まで
 対象者 小学校に入学する児童を持つ保護者91人
 補助額 1人50,000円（上限額）
 事業費 4,334,187円
 その他 令和6年度からの新規事業

内部評価・成果

A

小学校に入学する児童の保護者にランドセル購入費を助成することにより、保護者の経済的負担を軽減させることができ、町が取り組む「世代に応じた子育て支援策」に結びついていることから、順調に実施されている。

課題・今後の方向性

町では、子育て世代の経済的負担軽減を目的とし、0歳から大学生に至るまで切れ目のない町独自の支援対策を展開しており、町民から高い評価を得ていることから、現状のまま継続する。

外部評価委員の意見

町独自の世代に応じた子育て支援策の一環として、今後も継続をお願いします。

政策	その他
施策	社会情勢の変化等により新たに取り組んだ事業

事業名：41 新入学中学生制服等購入事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	6,671	千円
------------	-----	------------	-------	-------	----

事業概要

中学校に入学する生徒を持つ保護者の経済的負担を軽減し、健全な育成を図るため、生徒の保護者に対して制服等購入費を補助する。

令和6年度の主な取組

○中学校に入学する生徒を持つ保護者に対して、償還払いで制服等購入費を補助し、保護者の経済的負担を軽減した。

実施期間	令和7年1月から令和7年3月まで
対象者	中学校に入学する生徒を持つ保護者92人
補助額	1人70,000円（平均）
事業費	6,670,741円
その他	令和6年度からの新規事業

内部評価・成果

A

中学校に入学する生徒の保護者にランドセル購入費を助成することにより、保護者の経済的負担を軽減させることができ、町が取り組む「世代に応じた子育て支援策」に結びついていることから、順調に実施されている。

課題・今後の方向性

町では、子育て世代の経済的負担軽減を目的とし、0歳から大学生に至るまで切れ目のない町独自の支援対策を展開しており、町民から高い評価を得ていることから、現状のまま継続する。

外部評価委員の意見

町独自の世代に応じた子育て支援策の一環として、今後も継続をお願いします。

政策	その他
施策	社会情勢の変化等により新たに取り組んだ事業

事業名：42 新入学高校生制服等購入事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	5,511	千円
------------	-----	------------	-------	-------	----

事業概要

高等学校に入学する生徒を持つ保護者の経済的負担を軽減し、健全な育成を図るため、生徒の保護者に対して制服等購入費を補助する。

令和6年度の主な取組

○高等学校に入学する生徒を持つ保護者に対して、償還払いで制服等購入費を補助し、保護者の経済的負担を軽減した。

実施期間	令和7年1月から令和7年3月まで
対象者	高等学校に入学する生徒を持つ保護者100人
補助額	1人60,000円（上限額）
事業費	5,510,352円
その他	令和6年度からの新規事業

内部評価・成果

A

高等学校に入学する生徒の保護者に制服等購入費を助成することにより、保護者の経済的負担を軽減させることができ、町が取り組む「世代に応じた子育て支援策」に結びついていることから、順調に実施されている。

課題・今後の方向性

町では、子育て世代の経済的負担軽減を目的とし、0歳から大学生に至るまで切れ目のない町独自の支援対策を展開しており、町民から高い評価を得ていることから、現状のまま継続する。

外部評価委員の意見

町独自の世代に応じた子育て支援策の一環として、今後も継続をお願いします。

政策	その他
施策	社会情勢の変化等により新たに取り組んだ事業

事業名：43 高等学校等修学支援事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	18,800	千円
------------	-----	------------	-------	--------	----

事業概要

高等学校等に通う子供たちの学びの機会を与えるとともに、子育て世代を持つ保護者の経済的負担を軽減し、健全な育成を図るため、生徒の保護者に対して支援金を給付する。

令和6年度の主な取組

○高等学校等に通う生徒を持つ保護者に対して、支援金を給付し、保護者の経済的負担を軽減した。

実施期間	令和6年6月から令和7年3月まで
対象者	高等学校等に通う生徒を持つ保護者376人
給付額	1人50,000円
事業費	18,800,000円
その他	令和5年度からの継続事業

内部評価・成果

A

高等学校等に通う生徒の保護者に支援金を給付することにより、保護者の経済的負担を軽減させることができ、町が取り組む「世代に応じた子育て支援策」に結びついていることから、順調に実施されている。

課題・今後の方向性

町では、子育て世代の経済的負担軽減を目的とし、0歳から大学生に至るまで切れ目のない町独自の支援対策を展開しており、町民から高い評価を得ていることから、現状のまま継続する。

外部評価委員の意見

町独自の世代に応じた子育て支援策の一環として、今後も継続をお願いします。

政策	その他
施策	社会情勢の変化等により新たに取り組んだ事業

事業名：44 受験生世帯灯油購入支援事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	6,810	千円
------------	-----	------------	-------	-------	----

事業概要

原油高等対策として、受験生等を持つ保護者の灯油購入費の負担軽減及び志望校合格を応援するため、灯油購入費の一部を助成する。

令和6年度の主な取組

○受験生を持つ保護者に対して、灯油購入費の一部を助成し、保護者の経済的負担を軽減した。

実施期間	令和6年10月から令和7年3月まで
対象者	受験生（中学3年生・高校3年生）を持つ保護者227人
交付額	1世帯30,000円
事業費	6,810,000円
その他	令和3年度からの継続事業

内部評価・成果

A

受験生を持つ保護者の保護者に灯油購入費の一部を助成することにより、保護者の経済的負担を軽減させることができ、町が取り組む「世代に応じた子育て支援策」に結びついていることから、順調に実施されている。

課題・今後の方向性

町では、子育て世代の経済的負担軽減を目的とし、0歳から大学生に至るまで切れ目のない町独自の支援対策を展開しており、町民から高い評価を得ていることから、現状のまま継続する。

外部評価委員の意見

町独自の世代に応じた子育て支援策の一環として、今後も継続をお願いします。可能であれば、進学・就職についての把握を事前に行い、適切に助成していくことも必要ではないかと思えます。

政策	その他
施策	社会情勢の変化等により新たに取り組んだ事業

事業名：45 大学生等を持つ親等への支援事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	7,160	千円
------------	-----	------------	-------	-------	----

事業概要

物価高等の影響を鑑み、南部町出身の大学生等の生活支援を行う保護者の経済的負担を軽減するため、学資の一部を助成する。

令和6年度の主な取組

○南部町出身の大学生等を持つ保護者に対して、学資の一部として支援金を給付し、保護者の経済的負担を軽減した。

実施期間	令和6年10月～令和7年3月
対象者	南部町出身の大学生等を持つ保護者257人
交付額	自宅通学者1人20,000円 自宅外通学者1人30,000円
事業費	7,160,000円
その他	令和2年度からの継続事業

内部評価・成果

A

南部町出身の大学生等を持つ保護者に支援金を給付することにより、保護者の経済的負担を軽減させることができ、町が取り組む「世代に応じた子育て支援策」に結びついていることから、順調に実施されている。

課題・今後の方向性

町では、子育て世代の経済的負担軽減を目的とし、0歳から大学生に至るまで切れ目のない町独自の支援対策を展開しており、町民から高い評価を得ていることから、現状のまま継続する。

外部評価委員の意見

町独自の世代に応じた子育て支援策の一環として、今後も継続をお願いします。学資の助成のほか、町特産品の援助も行われているなど、手厚い支援をありがたく思います。

政策	その他
施策	社会情勢の変化等により新たに取り組んだ事業

事業名：46 小中学生修学旅行支援事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	14,934	千円
------------	-----	------------	-------	--------	----

事業概要

南部町内に住所を有し、小中学校等に就学している保護者の修学旅行における経済的負担の軽減を図るとともに、児童生徒の健全な育成を支援するため、修学旅行の経費を補助する。

令和6年度の主な取組

○南部町内に住所を有し、小中学校等（町外を含む）に就学している保護者の修学旅行における経費を補助した。（小学校1人60,000円、中学校1人120,000円）

福地小	函館市	児童35人・引率4人	補助額	1,852,990円
名川小	函館市	児童37人・引率5人	補助額	1,986,380円
南部小	函館市	児童15人・引率5人	補助額	918,750円
福地中	東京都ほか	生徒39人・引率6人	補助額	4,099,800円
名川中	東京都ほか	生徒39人・引率6人	補助額	3,873,478円
南部中	東京都ほか	生徒22人・引率5人	補助額	1,844,260円
町外の小中学校	東京都ほか	生徒3人・児童3人	補助額	357,515円

内部評価・成果

A

南部町内に住所を有し、小中学校等に就学している保護者の修学旅行における経済的負担を軽減させることができ、町が取り組む「世代に応じた子育て支援策」に結びついていることから、順調に実施されている。

課題・今後の方向性

町では、子育て世代の経済的負担軽減を目的とし、0歳から大学生に至るまで切れ目のない町独自の支援対策を展開しており、町民から高い評価を得ていることから、現状のまま継続する。

外部評価委員の意見

町独自の世代に応じた子育て支援策の一環として、今後も継続をお願いします。費用のかかる小中学生の修学旅行の補助をしていただけるのはとてもありがたいことです。今後、可能であれば、物価や経費高騰にも対応していただけると一層助かります。

政策	その他
施策	社会情勢の変化等により新たに取り組んだ事業

事業名：47 教職員の働き方改革推進事業

担当課	学務課	事業費	令和6年度	4,272	千円
-----	-----	-----	-------	-------	----

事業概要

南部町立小中学校の教職員が心と体の健康を維持しながら安心して働くことができる職場環境のもと、一人一人が能力を発揮することで、学校教育の質の向上と持続可能な学校経営を目指す。

令和6年度の主な取組

- 学校における働き方改革の推進に向けた取組内容等を示す「南部町立学校における働き方改革プラン」を策定した。
- 教職員の長時間勤務の現状や1か月あたりの平均時間外在校等時間の調査を行った。
- 働きやすい環境を構築するため、学校閉庁日の期間の設定や教職員の在校等時間の把握、教職員のメンタルヘルス対策として、すべての学校でストレスチェックを行った。
- 部活動指導による負担を軽減するため、中学校による合同部活動のあり方や、町スポーツ協会や地域少年団等との積極的な連携等情報収集し、中学校における休日の部活動の地域移行の推進を図った。
- 成績処理、その他の事務処理を効率化するため、校務へのICT活用の推進を図った。

内部評価・成果

C


教職員の長時間勤務の現状や1か月あたりの平均時間外在校等時間の調査を行った結果、小学校では教頭、中学校では部活動指導者の時間外労働時間が多い傾向にあり、施策の実現に貢献する事業が順調に実施されているとは言えない。

課題・今後の方向性

持続可能な学校を実現するためには、教職員の心と体の健康の確が不可欠であり、そのためには働きやすい環境整備を進めることが必要であることから、制度や事業の見直し等を行うなど、改善しながら継続する。

外部評価委員の意見

教職員の勤務実態調査やストレスチェック、部活動の負担軽減、事務処理の効率化など、働き方改革が着実に進められてきていますが、まだまだ時間外労働時間が多い状態と思われます。教職員の心身の健康と仕事への意欲の保持のため、今後もプランの見直しや教職員の悩みへの対応、働きやすい環境づくりを進めていただくことを期待します。



第5

学識経験者からの総評



- (1) 学校教育
- (2) 社会教育
- (3) 社会体育
- (4) 文化財保護

4 学識経験者からの総評

南部町教育委員会が、豊かで潤いのある生涯学習社会の形成に向けて、「心身ともに健康で豊かな情操とすぐれた創造力、たくましい実践力を持ち、郷土の発展に尽くす人材の育成」に努めるという方針のもと、学校教育及び社会教育において多様な事業を実施し、適切な効果を上げておられますことに敬意を表します。

今年度は、評価・点検項目を見直し、「南部町総合振興計画」に掲げられている施策に関する主な事務事業と、社会情勢等により新たに取り組んだ主要な事務事業について説明をいただきましたので、総評を述べさせていただきます。

(1)学校教育

- ①教育の質の向上のため、特色ある学校経営やクラブ活動等への補助金、外国語指導助手の派遣や GIGA スクール対応の ICT 環境の整備、教師用教科書・教材の購入等の事業が順調に実施され、確実な成果をあげていることは大変望ましいことです。今後も継続とさらなる充実を期待します。
- ②小学生国内交流及び中学生海外派遣は、学校では経験できない体験活動や視野を広げる貴重な場として、次代を担う子どもたちの育成にとっても意義のある事業なので、少子化対策等も踏まえた実施の工夫を加えながら、ぜひ続けていただきたいと思います。
- ③教育施設の維持・開放や図書の本整備、学校体制の適正化、スクール対応バス等に適切に取り組まれ、より良い教育環境の実現のために尽力されています。今後も将来を見通した学校づくり・教育環境の整備をお願いします。
- ④従前からの修学経費補助や奨学資金貸付、給食費無償化・食育推進等の事業に加え、社会情勢の変化に対応して、町唯一の県立高校への支援等、世代に応じた子育て支援策がきめ細かに推進され、切れ目のない学びへの保障と家庭の経済的負担軽減のため手厚い補助がなされている状況は、非常に価値のある取り組みだと思えます。今後も未来を担うこどもたちのための支援をお願いします。

(2)社会教育

- ①生きがいのある町づくりのため、南部ふるさと塾・公民館講座・まべち笑学校などの多様で特色のある事業が開催されていると同時に、社会教育関連施設の整備も進められ、多くの参加者と自主的な取り組みが行われています。今後も利便性の向上と内容の工夫に努め、拡がりのある取り組みが展開されるよう期待しています。
- ②学校と地域ネット推進事業として、児童生徒が各分野の専門家による本物の体験や継承活動を体験できることは、学校と地域との連携を深め、地域への愛着を高めることにつながっています。また、親子おもしろ体験教室や読み聞かせ会など、家庭教育力向上に関わる様々な学習機会も積極的に提供されています。今後も、周知・内容の工夫や指導者の確保などを図りながら、地域を生かした教育活動や家庭教育の向上に努めていただくようお願いします。

(3)社会体育

- ①町内運動公園や各社会体育施設の運営と安全管理に努めながら、各種スポーツ大会の支援やニュースポーツの普及、リレーマラソンの開催等を実施し、多様な生涯スポーツの普及が図られています。今後もスポーツ指導者の育成と確保に努めるとともに、町民の積極的な参加と健康・体力づくりのため、町スポーツ協会等の各団体と連携しながら事業を推進していただきたいと思います。
- ②青少年の健全育成と地域の教育力向上のため、子ども会育成のための支援も引き続きお願いします。

(4)文化財保護

- ①史跡聖寿寺館跡発掘調査の整理作業と総括報告書作成及び聖寿寺館跡の史跡公園化・展示・学習施設の整備について、文化庁や専門家との協議を計画的に見通しをもって進め、価値の高い内容・施設に仕上げていただくことを望みます。
- ②町の貴重な文化財の保護・保存のため、情報収集・調査・新たな指定などを継続的に進めるとともに、南部七唄・七踊りやえんぶりなど、郷土の伝統芸能・文化の継承や支援並びに情報発信等の支援もお願いします。

令和6年度の事業が、限られた予算の中で工夫・改善を図りながら実施されているとともに、社会情勢の変化に対応した効果的で意義のある事業も新たに展開されていることに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

今後も各種事業を通じて、未来を担う子どもたちの健全な育成に尽力されるとともに、一人一人が目標を持って学び、積極的に社会参加し、健康で生きがいのある住みよいまちづくりに努められるようご期待申し上げます。

南部町のますますの教育行政の向上・発展と豊かな町民の育成が図られることを願ひまして、結びといたします。

南部町教育委員会の事務の点検・評価アドバイザー

元南部町立向小学校長 芦名 均

南部町スポーツ協会長 高森 直樹



参考資料



- (1) 南部町教育委員会の事務の点検及び評価実施要綱
- (2) 南部町立小中学校学級数・児童生徒数

5 参考資料

(1) 南部町教育委員会の事務の点検及び評価実施要綱

(趣旨)

第1 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施するため、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の実施)

第2 教育委員会は、毎年、前年度の教育に関する事務が南部町教育施策の方針に基づいて適切に実施されているか点検するとともに、その成果及び課題等について自ら評価するものとする。

(学識経験者等の知見の活用)

第3 教育委員会は、点検及び評価についての客観性を確保するため、点検及び評価の実施方法並びにその内容等について意見を聴取するなど、教育に関する学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

(点検及び評価の結果の活用)

第4 点検及び評価の結果は、教育施策の企画立案等、効果的な教育行政の推進等に活用するものとする。

(町議会への報告等)

第5 点検及び評価の結果については、報告書を作成して町議会へ提出するとともに公表するものとする

(その他)

第6 この要綱に定めるもののほか、点検及び評価に関し必要な事項については、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成 20 年 7 月 7 日から施行する。

この要綱は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

(2) 南部町立小中学校学級数・児童生徒数

◆学校基本調査（令和7年5月1日時点）

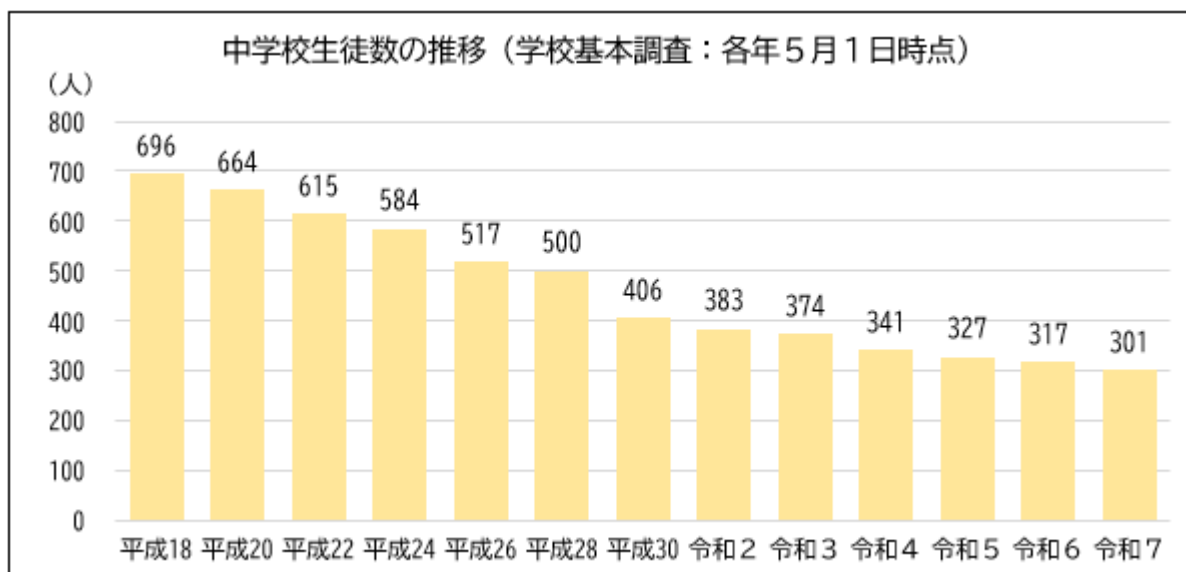
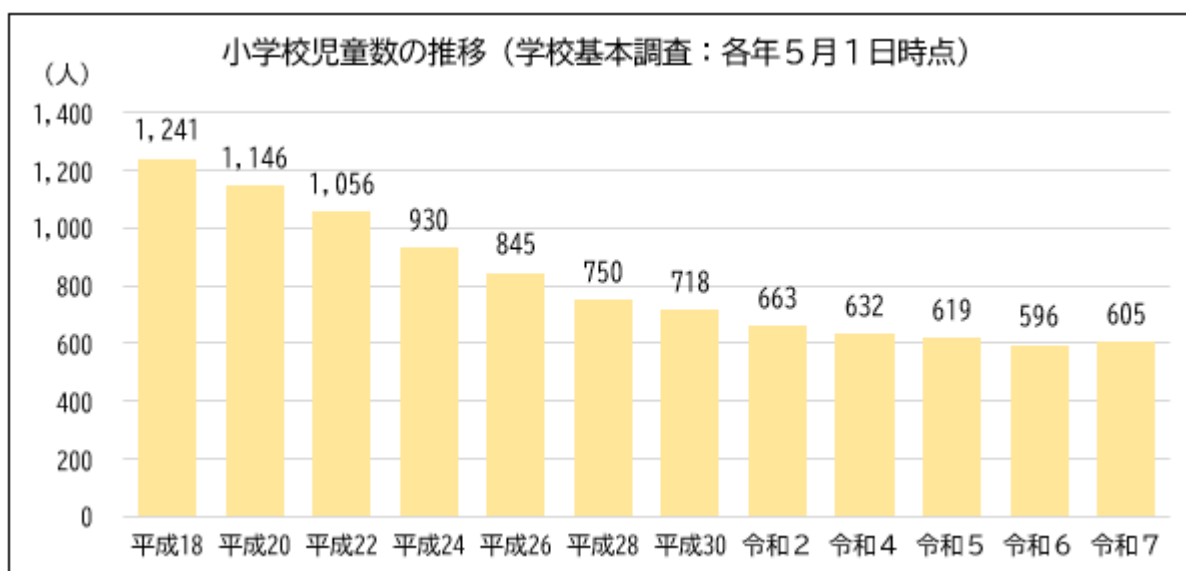
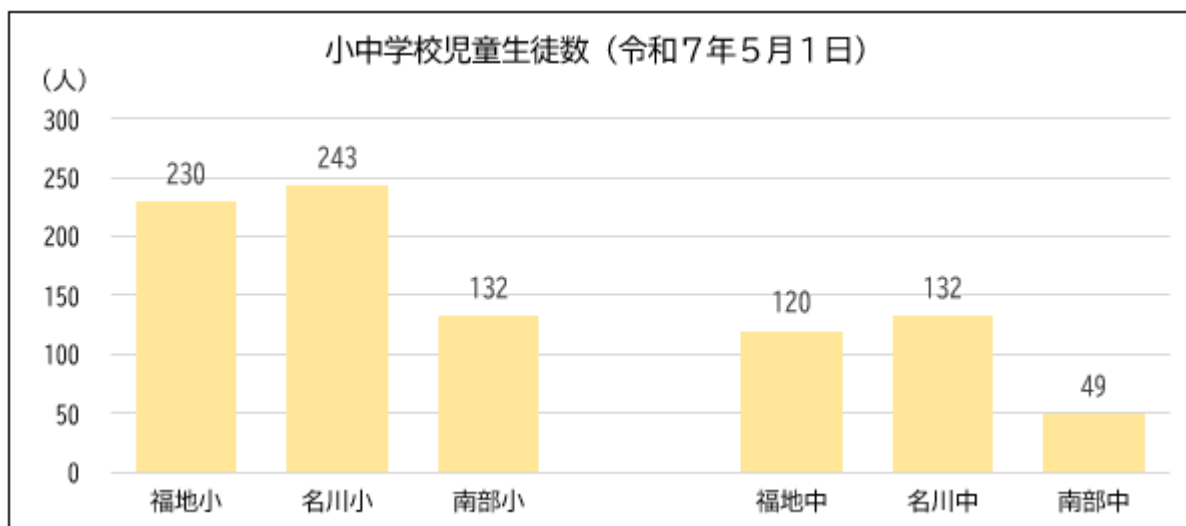
単位（人）

	学級数			児童生徒数						
	普通	特別支援	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
福地小	8	4	12	34	37	39	36	37	47	230
名川小	10	3	13	41	32	38	45	42	45	243
南部小	6	2	8	21	22	26	23	19	21	132
計	24	9	33	96	91	103	104	98	113	605
福地中	4	2	6	37	45	38				120
名川中	5	2	7	39	46	47				132
南部中	3	2	5	14	17	18				49
計	12	6	18	90	108	103				301

◆児童生徒数の推移（学校基本調査：各年5月1日時点）

単位（人）

	小学校							中学校			
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計
平成18	195	187	217	210	193	239	1,241	235	232	229	696
平成19	155	194	188	213	210	190	1,150	238	233	233	704
平成20	187	154	193	189	213	210	1,146	192	239	233	664
平成21	158	189	157	188	193	214	1,099	211	193	242	646
平成22	165	165	188	158	187	193	1,056	211	211	193	615
平成23	135	163	167	187	156	189	997	191	210	213	614
平成24	123	137	162	168	185	155	930	184	190	210	584
平成25	139	123	137	159	168	184	910	159	185	191	535
平成26	122	138	124	137	158	166	845	176	157	184	517
平成27	122	123	140	125	137	159	806	167	175	156	498
平成28	106	123	121	140	124	136	750	157	170	173	500
平成29	106	106	121	119	144	125	721	124	159	170	453
平成30	118	107	107	124	119	143	718	124	123	159	406
平成31	93	118	109	110	122	117	669	141	125	125	391
令和2	113	93	118	109	109	121	663	117	141	125	383
令和3	107	115	93	115	110	110	650	119	116	139	374
令和4	102	101	118	88	116	107	632	105	120	116	341
令和5	101	102	99	114	88	115	619	102	104	121	327
令和6	92	101	103	98	114	88	596	108	103	106	317
令和7	96	91	103	104	98	113	605	90	108	103	301



令和7年度
南部町教育委員会の事務の点検・評価報告書
(令和6年度事業対象)

令和8年3月
南部町教育委員会 学務課

〒039-0592
青森県三戸郡南部町大字平字広場 28 番地 1
電話 0178-38-5968 / FAX 0178-38-5978